

# 横須賀「海と船が見える坂道」

—坂道の風景から横須賀の魅力発見！—



横須賀建築探偵団 坂学会 吉田 秀樹  
「海と船が見える坂道」「みなとまちの民俗学」「港の日本史」

# ごあいさつ

横須賀で「海と船が見える坂道」の調査を始めて10年になろうとしています。

今では、坂道巡りも東京ではメジャーになってきています。

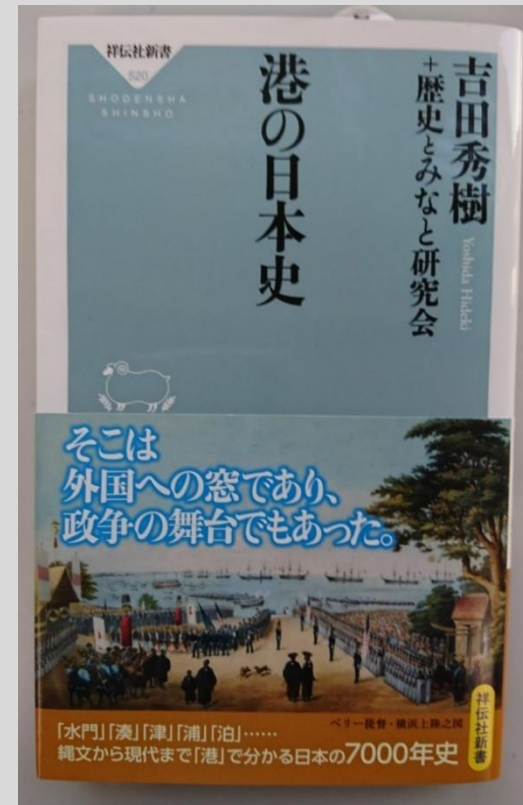
横須賀ではまだまだです。来年から始まるの「ルートミュージアム」を機会に展示会を試みました。



# 展示の主な内容

1. 自己紹介
  2. 横須賀発展の歴史と魅力
  3. 「坂道」についてのイメージ
  4. 横須賀での「海と船が見える坂道」活動
  5. 横須賀「海と船が見える坂道」の特徴
  6. 坂道とセットの「ブラフ積み」石垣
  7. 横須賀おすすめ「海と船が見える23坂」
  8. 「横須賀案内(横須賀坂道物語)」の提案
  9. 私たちが出来ることは？
- おまけ カツ丼(ソース)のいろいろ

私の本です 読んでください



# 1. 自己紹介 こんな名刺です



## プロフィール

生まれ 福井県

住まい 横須賀市

趣味 自転車/軽登山

街並み/坂道

近代化遺産/艦船/鉄道

角打ち/定期市

食べ物 おろしそば/厚揚げ

カツ丼(ソース)

ヨコスカフランスパン



～海と船が見える坂道～みなとまちの`民俗学`～

## 2. 横須賀の歴史と魅力(風景と文化)

横須賀の歴史と魅力はなんですか？

私なりに考えてみました。

それは風景と文化だと思います。

4つにまとめてみました。

## 2. 横須賀の歴史と魅力(風景と文化)

幕末、横須賀製鉄所、小栗上野介、フランス を中心とする歴史(アイデンティティー)と現在

- ・ ①「海と船が見える坂道」+「ブラフ積み」石垣  
←地形(崖、谷戸)としての風景
- ・ ②独特パン屋・ソフトフランスパン ←港・近代産業からの食文化
- ・ ③居酒屋・「角打ち」 ←港・軍・工場に続く商店街風情
- ・ ④米国文化



# 横須賀の発展(地図上)から見ると①



## 戦前

横須賀製鉄所  
↓  
平地・埋立地市街地  
↓  
平坂等谷戸の坂道・商店街  
ブラフ積み石垣  
↓  
上町など住宅  
ブラフ積み石垣  
丘陵には畑と農道

## 戦後

丘陵地・谷戸の開発  
↓  
道路の新設  
農道・山道の利用  
↓  
市街地内の  
「海と船が見える坂道」

大正4年地図

# 「海と船が見える坂道」とは？ 断面模式図

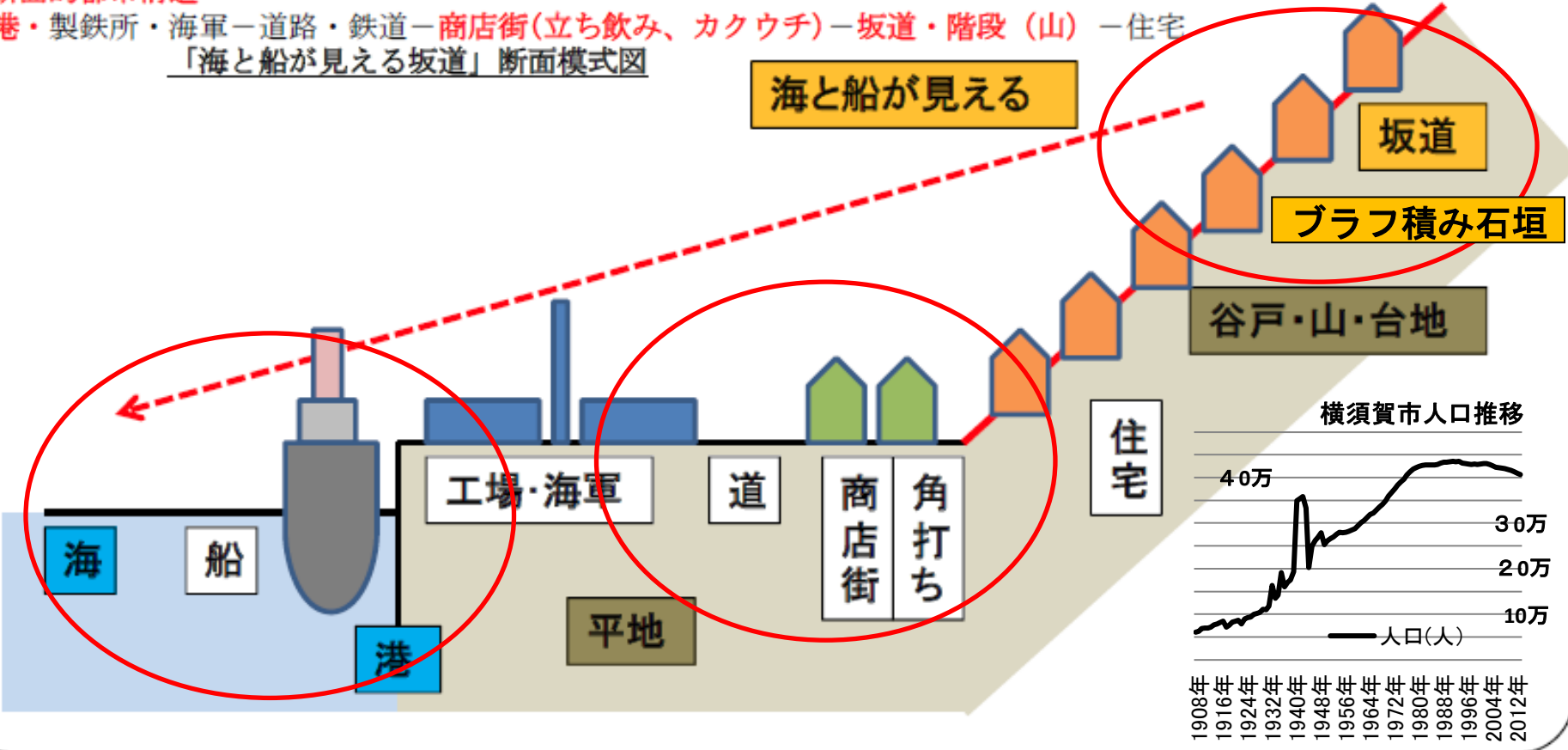
## 「海と船が見える坂道」の特徴(横須賀事例)

150年前の横須賀製鉄所建設以来、臨海部工場・海軍立地による人口増のため住宅地開発が丘、山に進みました。その結果、臨海部と住宅地を結ぶ坂道や階段が発達しました。

### 断面的都市構造

港・製鉄所・海軍—道路・鉄道—商店街(立ち飲み、カクウチ)—坂道・階段(山)—住宅

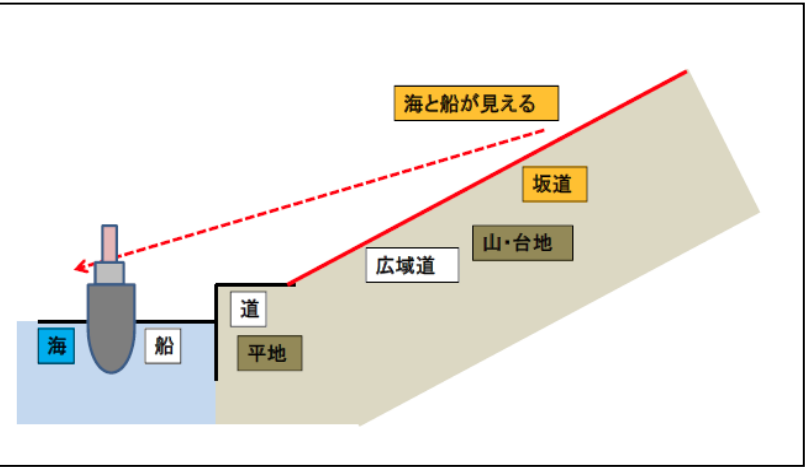
「海と船が見える坂道」断面模式図



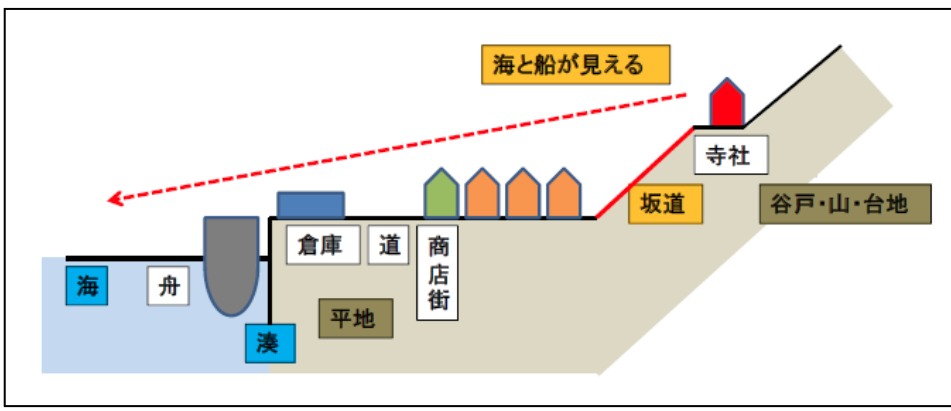


# 「海と船が見える坂道」の4分類

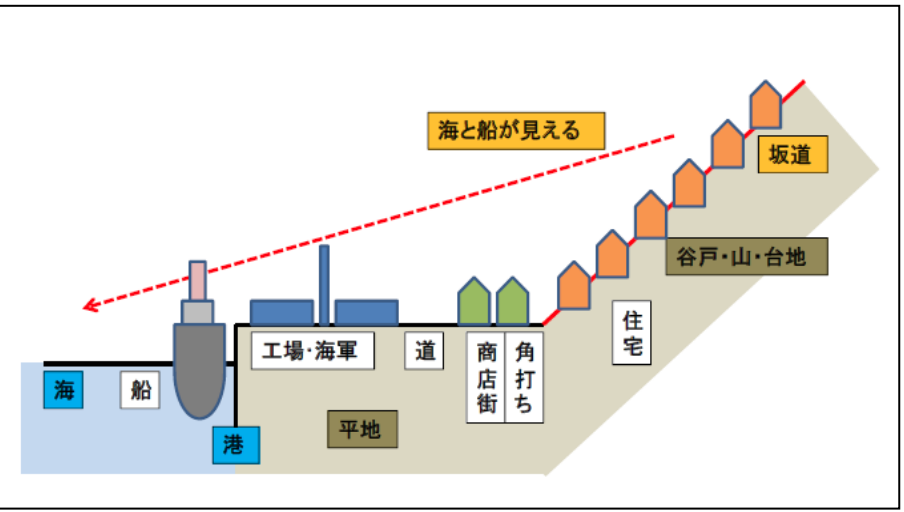
① 広域道(浦賀道・国道16号線等)



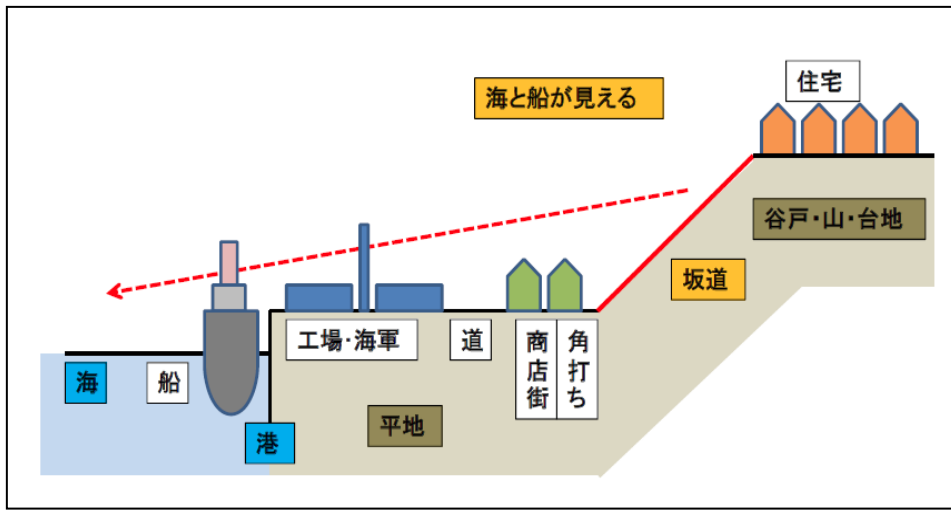
② 寺社型(近世)



③ 住宅地内坂道(近代・現代)



④ 台地・低地連絡路(近代・現代)



### 3. 「坂道」についてのイメージ ストーリーの必要性

「坂道」についてのイメージとはなんですか？

私なりに考えてみました。

横須賀の坂道はどれにあたるのでしょうか？

当然、「みなとまちの坂道」です。

それも「海と船が見える坂道」です。

### 3. 「坂道」についてのイメージ ストーリーの必要性

- ・ ブラタモリ・全力坂→江戸の坂、江戸時代の坂
  - 江戸時代、住所が無いときに場所を表す
  - 台地と低地との境界に出来た坂。城下町の坂。街道の坂？
  - 名前がある
- ・ みなとまちの坂→長崎、尾道、函館、神戸、横浜
  - ハイカラのイメージ
  - 観光地になっている港
  - 名前があるものが多い。横浜では市民公募でつけたものもある
  - みなとまちの坂は、海や船が見える、そしてストーリーがある
  - 横須賀は？

# 横須賀（東京湾側）

# 名前のある坂

東京湾側（横須賀坂道風土記より作成、下線は「海と船が見える坂道」）

地区名	坂名
田浦・長浦・逸見・汐入	赤坂、 <u>梅林の坂</u> 、 <u>太田坂</u> 、 <u>のの字坂</u> 、 <u>十三峠の坂</u> 、枇杷首坂、 <u>柿の谷坂</u> 、
汐入・上町	<u>稻荷山の坂</u> 、 <u>一国坂</u> 、谷町の坂、小屋の坂、 <u>諏訪公園の坂</u> 、うぐいす坂、平坂、裏坂、坂本の坂、ちこく坂、長源寺坂、読書公園の坂、聖徳寺坂
上町、堀ノ内、大津	どうきみ坂、天神坂、モチン坂、砂坂、 <u>安房口神社の坂</u> 、 <u>矢の津坂</u> 、 <u>防大の坂</u> 、自然教育園の坂、
走水、鴨居、浦賀	<u>三百段階段</u> 、 <u>百段階段</u> 、へび坂、 <u>恵仁志坂</u> 、 <u>産霊坂</u> 、御林の坂、 <u>軍道の坂</u>

名前のある坂は意外と多い。知らない坂も多い  
ストーリーを持ったPRが必要だ

## 4. 横須賀で「海と船が見える坂道」活動

横須賀では坂道は見向きもされませんでした  
知らない名前のある坂も多い  
ストーリーを持ったPRがまだまだと思いました

→「海と船が見える坂道」です

この10年間どのような活動をしてきたのかご紹介  
します。

## 4. 横須賀で「海と船が見える坂道」活動

横須賀の観光はどうだ？

歴史認識の改善進む？軍港資料館？

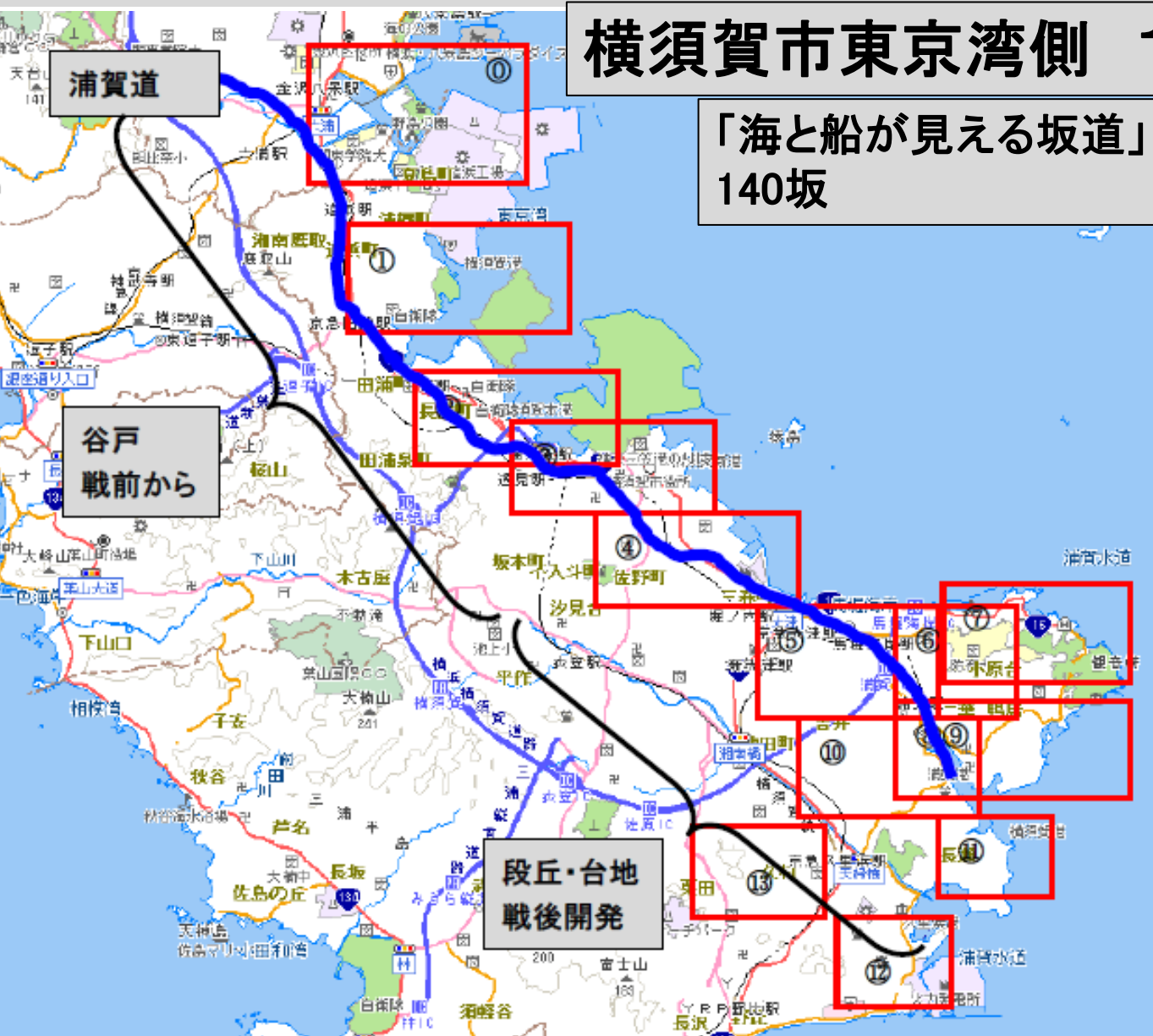
谷戸、坂道も多い。ネガティブイメージ

谷戸の見直しがようやく進む。次は坂道！

横須賀は「海と船が見える坂道」だ  
横須賀市の財産だ  
ネガティブ→ポジティブに

→先ずは自分でやってみた

# 「海と船が見える坂道」マップ 地区分類



## 横須賀市東京湾側 14地区のマップ

「海と船が見える坂道」  
140坂

マップ番号	地区名	坂数
No.0	野島-追浜	4
No.1	追浜-田浦	13
No.2	田浦-逸見	11
No.3	逸見・汐入-県立大学	11
No.4	県立大学-堀之内	12
No.5	大津-馬堀海岸	13
No.6	馬堀海岸-浦賀	11
No.7	馬堀海岸-観音崎	13
No.8	鴨居	9
No.9	東浦賀	10
No.10	西浦賀	6
No.11	西浦賀-川間	11
No.12	久里浜花の国	7
No.13	ハイランド	9

# 「海と船が見える坂道」横須賀での活動

## こつこつの成果が少しずつ出てきました

横須賀港「海と船が見える坂道」  
マップを作り  
都市景観協議会賞受賞H27

仲間と坂道歩き  
(坂学会、横須賀建築探偵団など)

坂道マップ

横須賀 「海と船が見える坂道」マップ③ (汐入ー県立大学)

-浦賀道に沿って-H25.7 作成 園総研吉田

**浦賀道に沿って**

- ① 横須賀山(125-38)
- ② 山本町(125-38)
- ③ 東港町1の坂(125-42)
- ④ 海舟一里の坂
- ⑤ 二宮坂(125-46)
- ⑥ 汐入町の坂(125-50)
- ⑦ 汐入町の坂(125-57)
- ⑧ 辻町の坂(125-100)
- ⑨ 小津の坂(125-200)
- ⑩ 三つ峠の坂(125-300)
- ⑪ 坂倉坂(125-320)
- ⑫ 坂倉坂(125-320)
- ⑬ 坂倉坂(125-320)
- ⑭ 坂倉坂(125-320)
- ⑮ 坂倉坂(125-320)
- ⑯ 坂倉坂(125-320)
- ⑰ 坂倉坂(125-320)
- ⑱ 坂倉坂(125-320)
- ⑲ 坂倉坂(125-320)
- ⑳ 坂倉坂(125-320)

**浦賀道に沿って**

- ① 大工町(125-14)
- ② 汐入町2からの坂(125-40)
- ③ 北港町(125-116)
- ④ 北港町(125-116)
- ⑤ 北港町(125-116)
- ⑥ 北港町(125-116)
- ⑦ 北港町(125-116)
- ⑧ 北港町(125-116)
- ⑨ 北港町(125-116)
- ⑩ 北港町(125-116)
- ⑪ 北港町(125-116)
- ⑫ 北港町(125-116)
- ⑬ 北港町(125-116)
- ⑭ 北港町(125-116)
- ⑮ 北港町(125-116)
- ⑯ 北港町(125-116)
- ⑰ 北港町(125-116)
- ⑱ 北港町(125-116)
- ⑲ 北港町(125-116)
- ⑳ 北港町(125-116)

横須賀市から北港町は平地がなくなりス式急坂となり、浦賀道は山道となっています。過去の横須賀港の歴史を踏まえ、工業、商業地の確立も始まり、背後の山・「海」の地域には、人口増加に対し、住宅や防衛が立地しました。そのため縦横に坂道が交差し、「海と船が見える坂道」もあります。今は、環立して、美麗な立地が海に届くように見えます。

※( )は住所と坂下の標高







# 「海と船が見える坂道」横須賀での活動

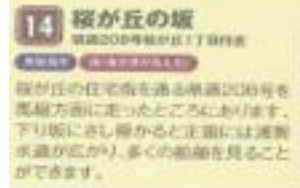


## 13 砂坂

大塚

徒歩 徒歩15分

新横浜道の一部。現在は、緩やかな坂で、坂の途中には「砂坂道標」があり、別名「イボとり坂」と呼ばれています。

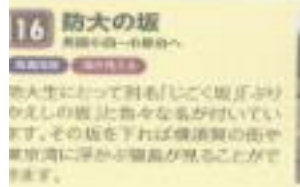


## 15 走水の坂

新横浜道

徒歩15分

国道16号の「うみかぜの浜」のルート上にある坂で、周辺は撮影スポットにもなっています。天気が良ければ横須賀の旧跡と富士山を見ることができます。



## 横須賀の「坂道」の魅力

「坂のまち」といえば誰もが思い出すのが、長崎、京都、神戸そして江戸東京。ほとんどの場合です。実は横須賀も「坂のまち」なのです。海と船と入り込んだ海軍城。山・谷戸・崖、まさしく都府から明治にかけての近代産業・海軍高揚建設のための地形的要素だったのです。平野も少ないため、人口集中・交通増大に伴い、自然と坂道が発達しました。特に海沿いの坂道は「海と船が見える坂道」となっています。

横須賀の坂道は機能上大きく4つに分けられます。

第一は、街道・国道など幹線道路の坂道。江戸時代からの大正時代にかけて開通された東海道を軸として向かう「鎌倉道」や三浦半島の主要幹線道路に発達した坂道です。

第二は、寺社等近代以前の山と平地境界線上の坂道。近代以前、元来無産は平野部に立脚し、山・台地との境界に寺社が立地しました。寺社に登る参道が坂道となっています。

第三は、幕末以降近代殖産の発展に伴う市街地、戦後人口集中により形成された台地上や高地内の坂道。横須賀は都市以降急激に発展した街です。人口増加に伴い市街地が拡大、特に谷戸、台地、山麓部に広がっています。その市街地内の道路が坂道となっています。特に発達した北部地区、特に発達した南部・南東地区に大きく分かれます。

第四は、台地・山麓部の市街地と平野部を結ぶ地区間連絡路としての坂道。台地上に市街地が出来ると交通網・商業・産業が発達した平野部との連絡路が必要となります。横須賀の北部、南部に多数発達しています。

横須賀の独特な坂道は、4つの分類中、第二、第四の坂道です。それは、幕末の横須賀製鉄所立地以降の横須賀発展の歴史の産物だからです。ご一緒に紹介した坂道はほかにも魅力的な坂がたくさんあります。是非皆さんの目で坂道を探して横須賀の歴史・風情を感じ取ってください。



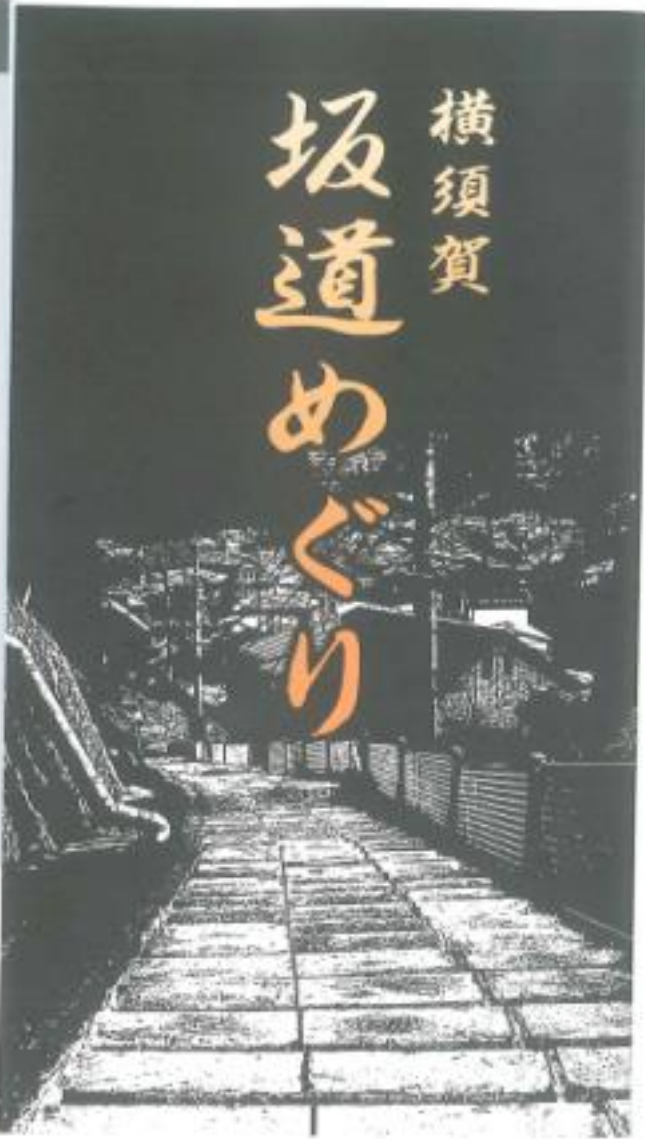
## 吉田秀樹

国土交通省横浜港湾局  
横須賀市観光局観光課 観光マニア  
「海と船が見える坂道」を記して北部のまち歩きを促し、横須賀と北九州の「海と船が見える坂道」マップ作成。「海と船が見える坂道」をテーマとしたイベント、セミナー、ワークショップなど、そのほか、観光マニアの活動にも参加。

正統的な坂道には、  
足踏の石や通行するための  
段差に気をつけよう。  
早急なる行動をお願いします。



監 修：吉田秀樹  
実 行：横須賀市観光局観光課実行委員会  
事務局：横須賀市観光局観光課企画課046-823-8124  
場 所：国土交通省横浜港湾局・神奈川県横浜市長官舎・横須賀市観光局コンフォリアサイトの前



# 「海と船が見える坂道」横須賀での活動

## こつこつの成果が少しずつ出てきました

市「海が見える坂道」募集H30  
谷戸再生で坂道が話題

番外編 市報横須賀 H29.1  
パン、ホッピー、湯豆腐

**坂道階段「健康増進につながる」**

谷戸の可能性を探り、活用の方策を考える全5回の連続講座が市教育委員会生涯学習課の主催で開催、25人の参加者が谷戸の住宅が形成されていった経緯を学び、現地のフィールドワークを行った。最終日の今日15日は「勝手に谷戸をプロデュース」をテーマにグループで発表し写真、車が進入できない坂道や階段をフラスコと捉え安全・安心に楽しめる健康ウォーキングコースの設定や住民の生活支援を行う拠点整備の提案など、活発に意見を交わした。



(3) 特集 広報 よこすか 平成29年(2017年)1月1日

変わらぬ味は  
自慢の味

教えたい、伝えたい、広めたい。

ソフトフランス



若松町・横須賀ベークリー  
ピーナツクリーム、いちごジャム、マーガリン。  
おなじみの定番トッピング。

横須賀  
ソウル  
フード



横須賀野菜



豊かな彩り。とれたてのシャキッと感。

今日のご褒美  
明日の活カ

大衆酒場。  
湯豆腐。  
アジ刺。  
ホッピー。



若松町・中央酒場

横須賀は、からしを塗る。

## 5. 横須賀「海と船が見える坂道」地理的特徴

横須賀の「海と船が見える坂道」の特徴をまとめましたのでご紹介します。

東京湾側の11地区(のち2地区追加)の坂道を歩いて調べた結果です。

# 5. 横須賀「海と船が見える坂道」地理的特徴

マップ番号	地区名		坂数	坂道分類					坂道風土記述	坂道の種類		坂道 平均勾配		坂道 平均角度	
				①広域道	②寺社型	③住宅地内坂道	④台地・低地連絡路	⑤その他		斜路	階段(斜路含)	斜路	階段(斜路含)	斜路	階段(斜路含)
	横須賀市全体		124	11	14	27	59	13	14	55	69				
			割合	9	11	22	48	10	11	44	56				
No.0	野島-追浜	最近開発された和田山と砲台のあった野島	4	0	0	0	50	50	0	50	50	8.8	22.1	5.0	12.0
No.1	追浜-田浦	戦前からの人口集中と戦後の宅地開発	13	0	0	23	69	8	0	38	62	6.3	13.0	3.6	7.4
No.2	田浦-逸見	山岳部を通る浦賀道とそれに連絡する坂道	11	27	0	18	36	18	36	45	55	11.2	22.2	6.4	12.5
No.3	逸見・汐入- 県立大学	山岳部を通る浦賀道とそれに連絡する坂道 及び人口集中による坂道	11	18	18	36	27	0	9	0	100		23.8	0.0	13.3
No.4	県立大学- 堀之内	平野部と丘陵部の境界海蝕崖部の連絡道	12	0	0	33	67	0	17	25	75	6.9	25.3	3.9	13.8
No.5	大津-馬堀 海岸	戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道	13	8	8	23	62	0	15	54	46	7.0	17.4	4.0	9.8
No.6	馬堀海岸- 浦賀	戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道	11	0	0	27	73	0	9	55	45	10.2	22.0	5.8	12.2
No.7	馬堀海岸- 観音崎	近世型坂道と砲台への連絡坂道	13	15	15	15	23	31	8	77	23	10.3	44.7	5.9	23.9
No.8	鴨居	戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道	9	0	0	33	56	11	0	56	44	6.3	30.4	3.6	16.5
No.9	東浦賀	戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道と 近世型坂道	10	0	70	10	20	0	20	10	90	10.5	55.0	6.0	27.7
No.10	西浦賀	戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道と 近世型坂道	6	0	33	17	50	0	0	33	67	14.2	30.5	8.0	16.7
No.11	西浦賀-川 間	砲台等戦前型坂道と住宅開発型坂道	11	27	0	9	36	27	9	82	18	12.4	38.8	7.0	19.9
	平均値			9	11	22	48	10	11	44	56	9.5	28.1	5.4	15.1

# 横須賀港「海と船が見える坂道」の地域的分析

- ・ 横須賀港全体 → 近世現代型 台地・低地連絡型坂道、住宅地内坂道、70%
- ・ 追浜～逸見(谷戸) → 近代戦前  
広域道、台地・低地連絡型坂道、 階段
- ・ 逸見・汐入～堀之内(谷戸、段丘台地) → 近代戦前  
広域道、住宅地内坂道、 階段、
- ・ 大津～鴨居(段丘台地) → 戦後開発  
台地・平地連絡型坂道、 斜路
- ・ 浦賀(段丘台地) → 近世型  
寺社型坂道、 階段、勾配急

 坂道傾向 → 地区形成の時代・歴史と強い関係

## 6. 坂道とセットの「ブラフ積み」石垣

皆さん、「ブラフ積み」石垣ってご存じですか？

これも横須賀の独特の景観です。

最近、横須賀市内の「ブラフ積み」石垣の調査を行い、まとめています。

機会を見てご報告しますが、今回は簡単にご紹介します。

# 6. 坂道とセツの「ブラフ積み」石垣

## 道路・住宅地



横須賀市民大学—横須賀坂道物語 吉田秀樹





# 坂道とセツの「ブラフ積み」石垣

陸軍・海軍（横須賀独特）



# 坂道とセットの「ブラフ積み」石垣

## ブラフ積み擁壁とは

### ①布積みの一種

石材 長手・小口、交互に配置  
レンガ「フランス積み」石垣版

### ②横浜山手地区に多数分布

### ③横浜市報告書「ブラフ積み」

### ④ブラフは英語で「崖」



## 7. 横須賀おすすめ「海と船が見える23坂」

皆さんにご紹介したい「海と船が見える坂道」を横須賀おすすめ「海と船が見える23坂」としてまとめました。

1地区、2か所ずつえ選びました。ぜひ訪れてください。

# 7. 横須賀おすすめ「海と船が見える23坂」

- ・ 私が皆様に、横須賀「海と船が見える坂道」おすすめ23坂を選びました
- ・ 各マップ2坂選定(マップ0は横浜境界のため1坂)
- ・  $2 * 12 - 1 = 23$  (ちょうど「乃木坂46」とか「欅坂46」の半分)

横須賀港「海と船が見える坂道」 おすすめ23坂 紹介マップ



横須賀港「海と船が見える坂道」 おすすめ23坂 紹介マップ



横須賀港「海と船が見える坂道」 おすすめ23坂 紹介マップ



横須賀港「海と船が見える坂道」 おすすめ23坂 紹介マップ



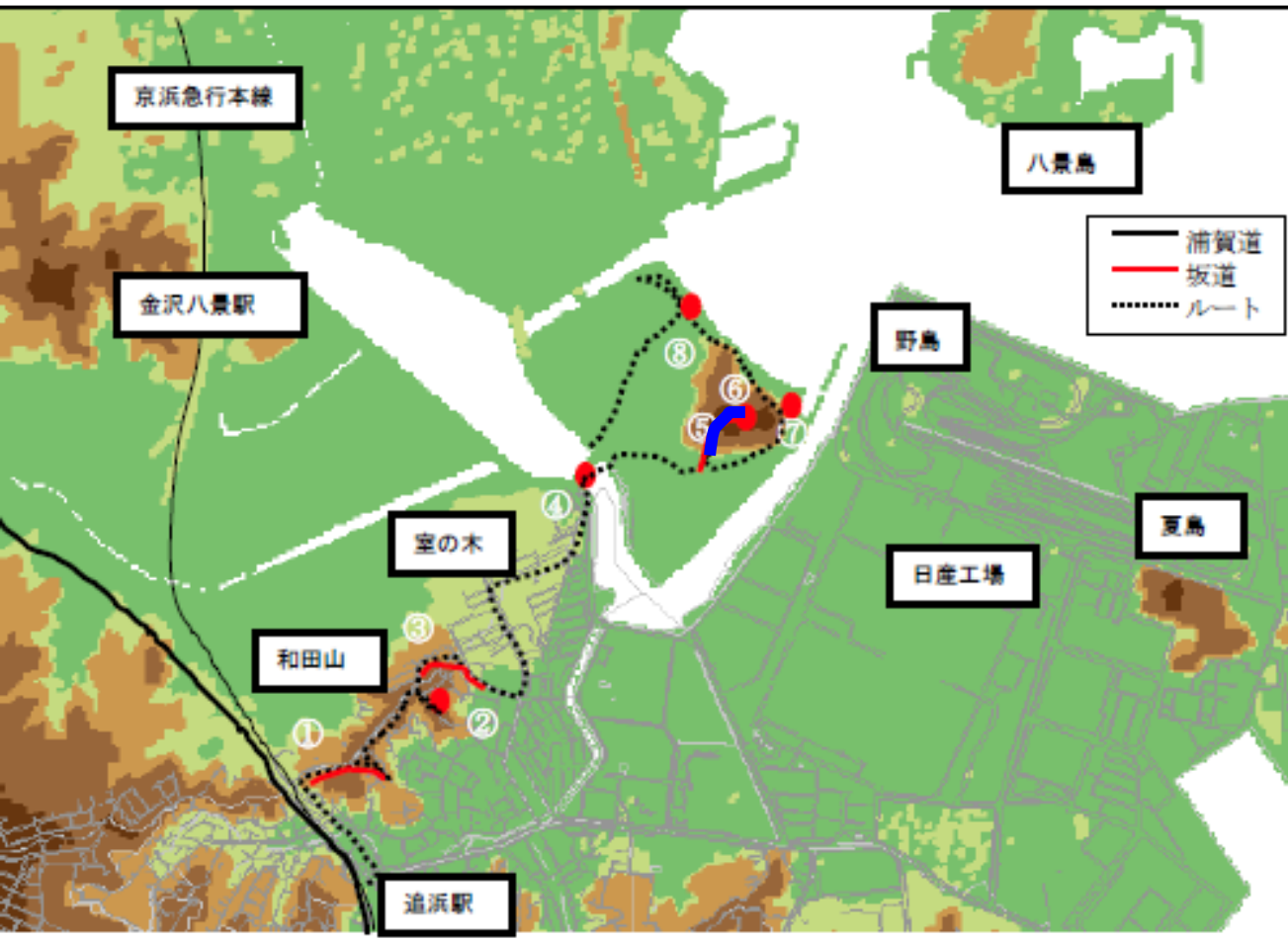
# マップ①(追浜ー田浦)

## 海と船が見える坂道情報

- ・最近開発された和田山と砲台のあった野島
- ・坂数 4坂

## その他おもしろ情報

- ・ソフトフランスパン  
北原製パン
- ・角打ち 安井商店
- ・追浜航空隊・掩体壕
- ・金沢八景。夕照橋。



# マップ①(追浜－田浦)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m－勾配%

⑤野島公園の急階段  
47m－42%

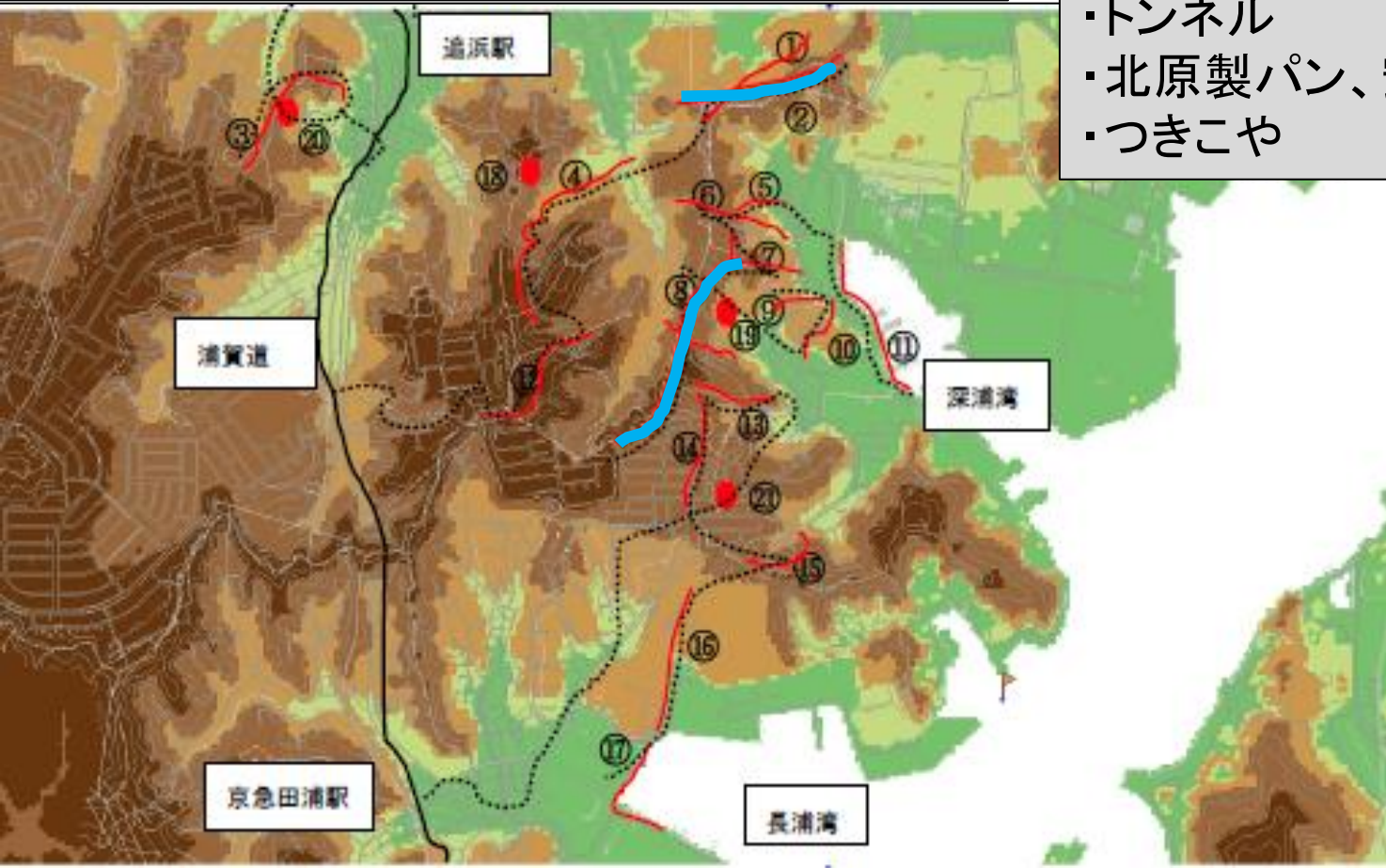
## 横須賀海軍航空隊ゆかりの坂道



# マップ①(追浜ー田浦)

海と船が見える坂道情報 ・坂数 13坂  
・戦前からの人口集中と戦後の宅地開発  
・④台地・低地連絡路が多い。70%  
・階段多い。62%。平均勾配13%

その他おもしろ情報  
・海軍航空技術廠  
・深浦ボートパーク  
・長浦海自基地  
・トンネル  
・北原製パン、安井商店  
・つきこや



浦賀道  
坂道  
ルート

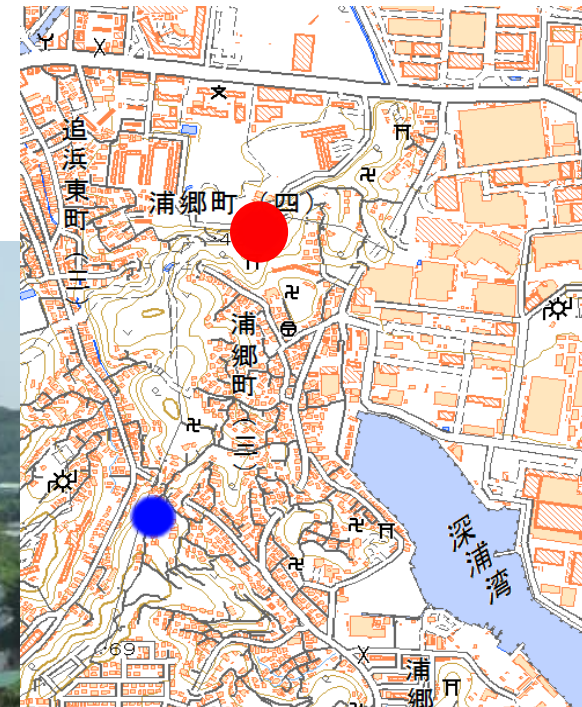


# マップ①(追浜ー田浦)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

②浦郷町3. 4の坂  
30mー9. 3%

## 浦郷尾根道つきこやの道



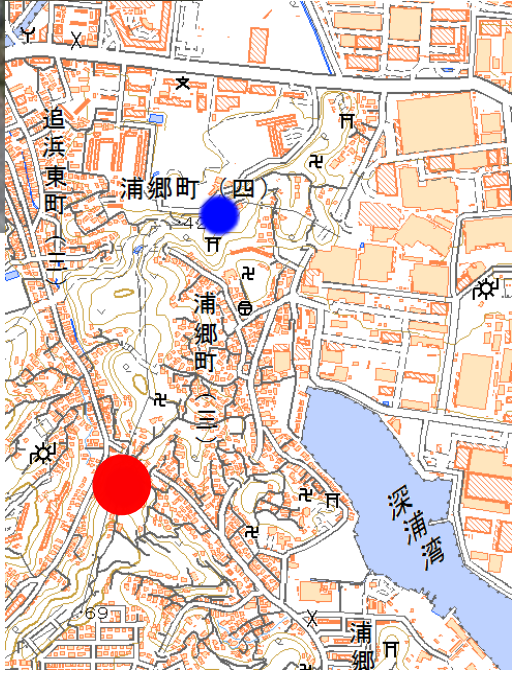


# マップ①(追浜ー田浦)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑧ 浦郷町 2 の坂  
21mー8.6%

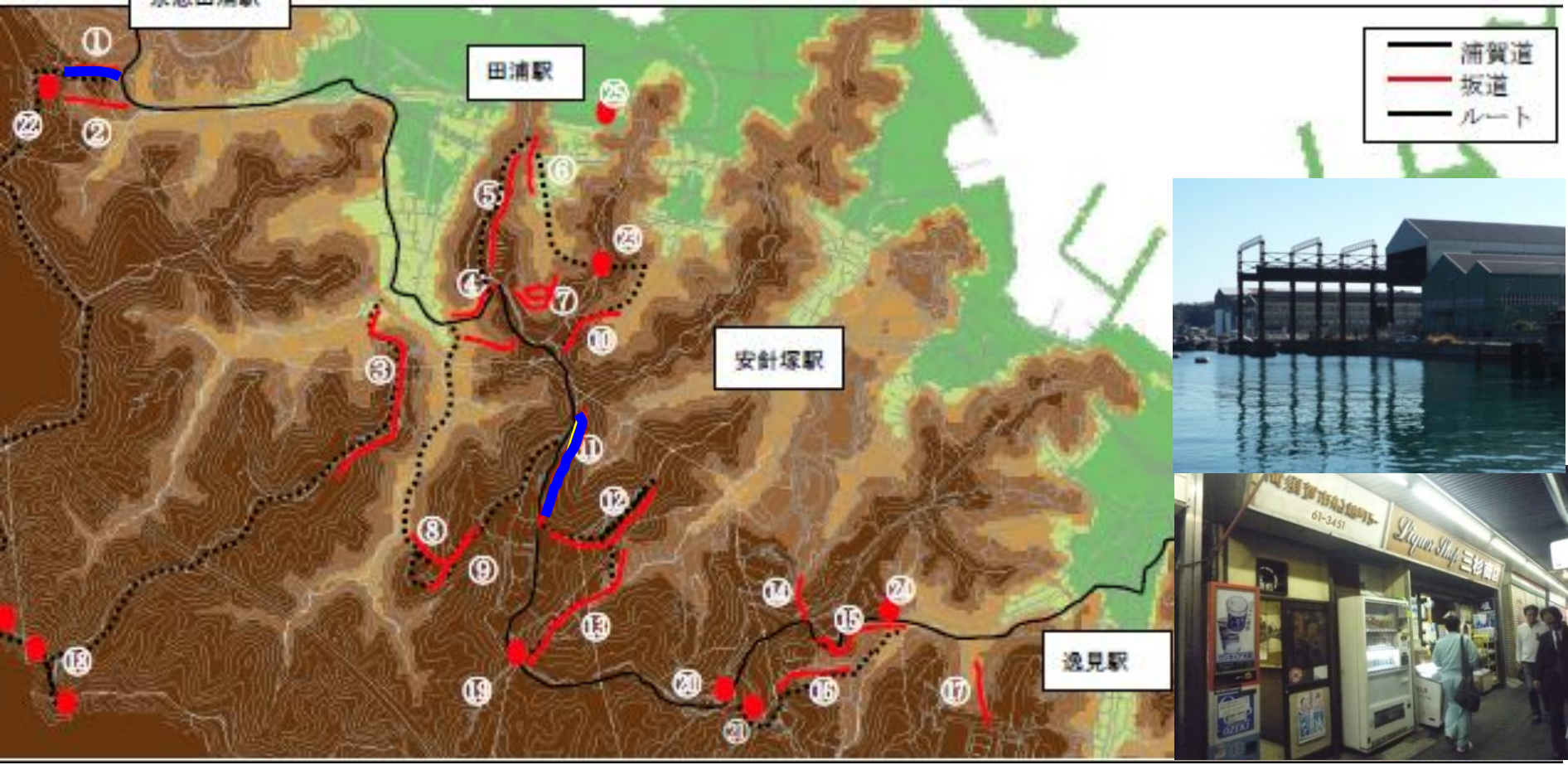
## 浦郷の山林尾根道道



# マップ②(田浦ー逸見)

海と船が見える坂道情報 ・坂数 11坂  
・山岳部を通る浦賀道とそれに連絡する坂道  
・①広域道が意外と多い。27% →浦賀道  
・斜路が意外と急。平均勾配11%

その他おもしろ情報  
・角打ち→三杉酒店  
・長浦海自基地  
・海軍水道・トンネル



# マップ②(田浦一逸見)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

①港が丘の234階段  
31m-23%



## 海軍水道と三浦アルプス

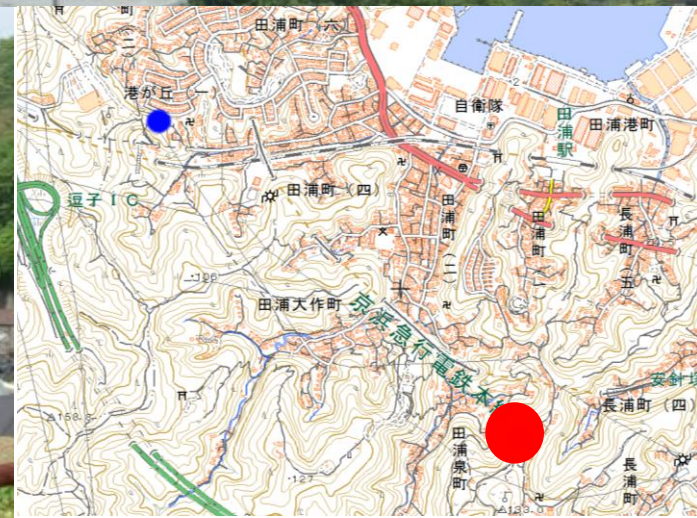


# マップ②(田浦一逸見)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

⑪長浦4の坂  
十三峠の坂  
35m-7%

## かつては国道だった浦賀道の坂道



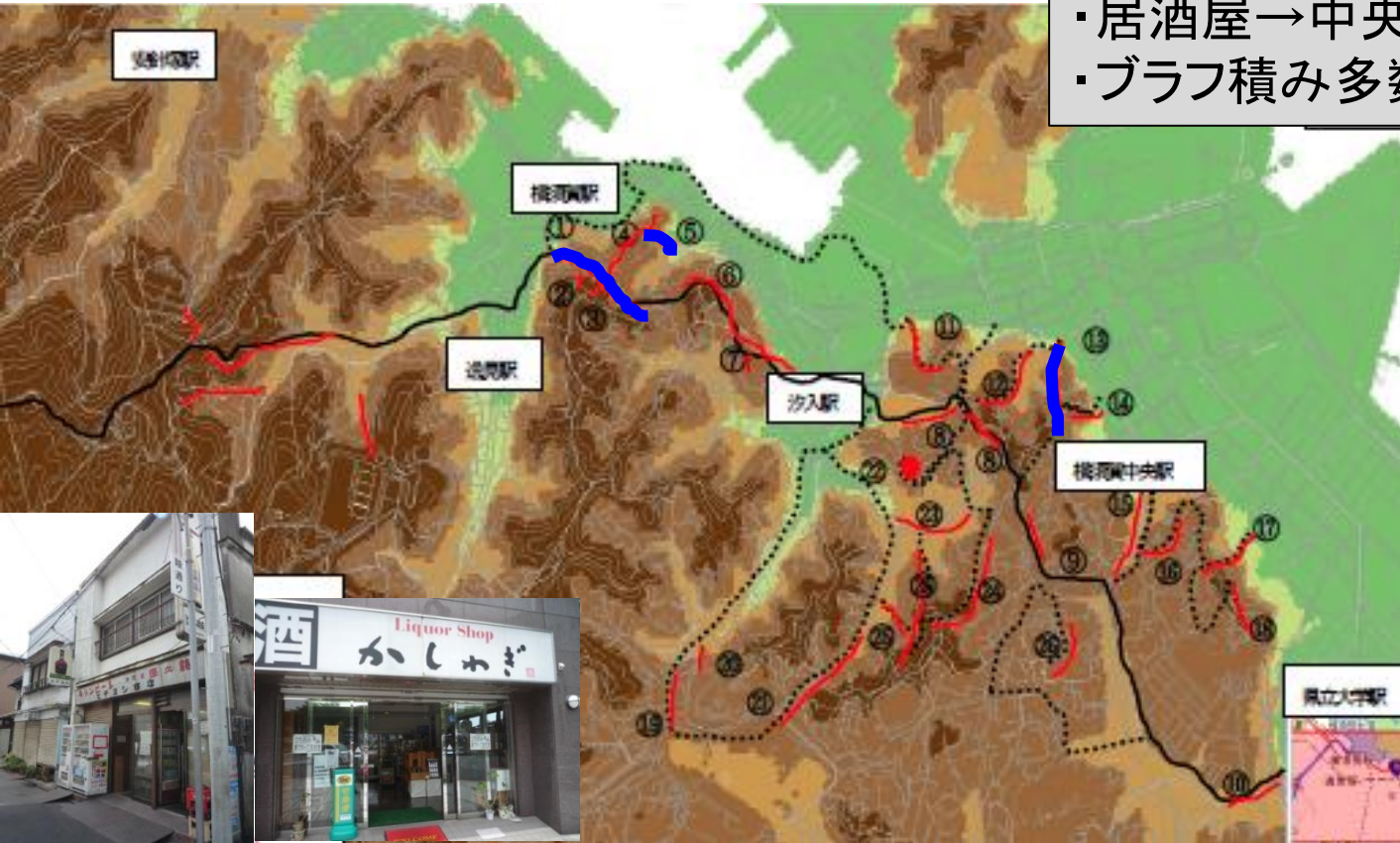
# マップ③(逸見・汐入ー県立大学)

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 11坂

- ・山岳部を通る浦賀道とそれに連絡する坂道及び人口集中による坂道
- ・①広域道18% ③住宅地内坂道が多い。36%
- ・すべて階段 平均勾配24%

**その他おもしろ情報**

- ・フランスパン→パンプキン、ヨコスカベーカリー、浜田屋、みのり屋パン
- ・角打ち→かしわぎ酒店、ヒデヨシ、ヒトモト
- ・居酒屋→中央酒場、
- ・ブラフ積み多数

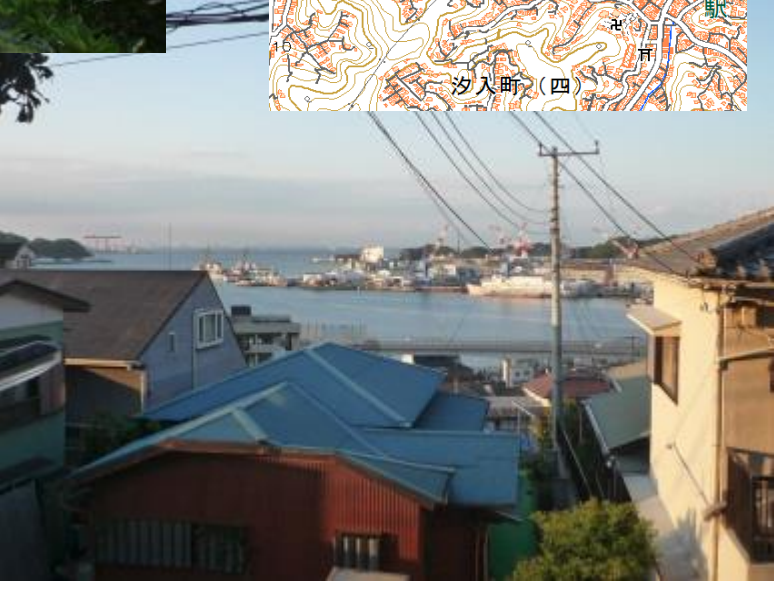
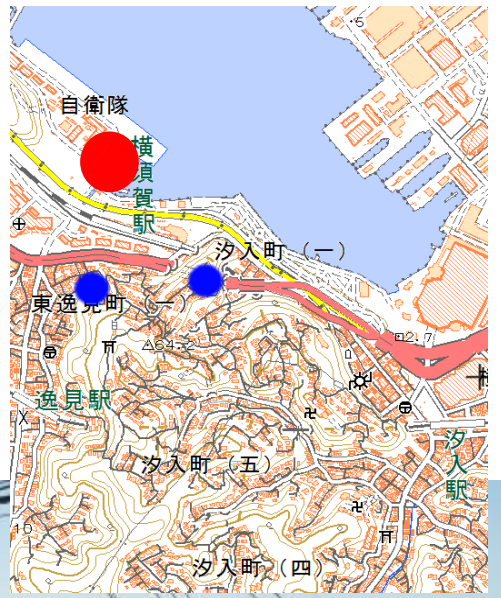


# マップ③(逸見・汐入ー県立大学)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

①稲荷山の坂  
31mー12%

## ブラフ積みある海と船が見える坂道



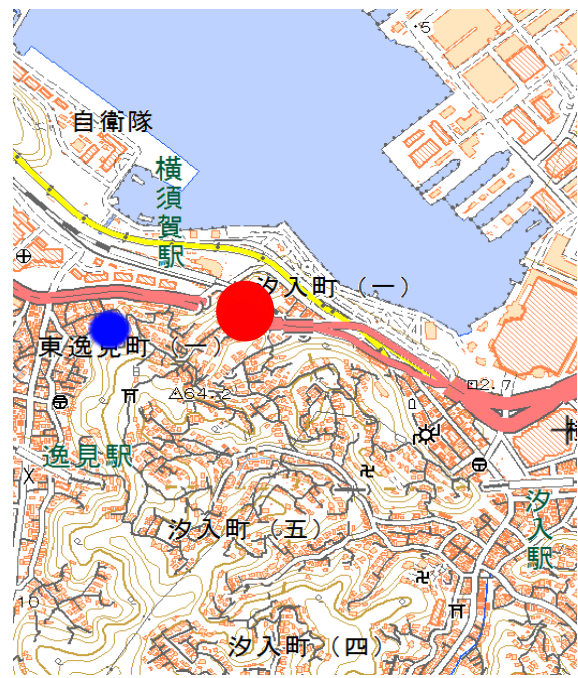
# マップ③(逸見・汐入ー県立大学)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑤一国坂  
36mー32%

## 横須賀随一の海と船が見える坂道

H30市選定  
「海が見える坂道」



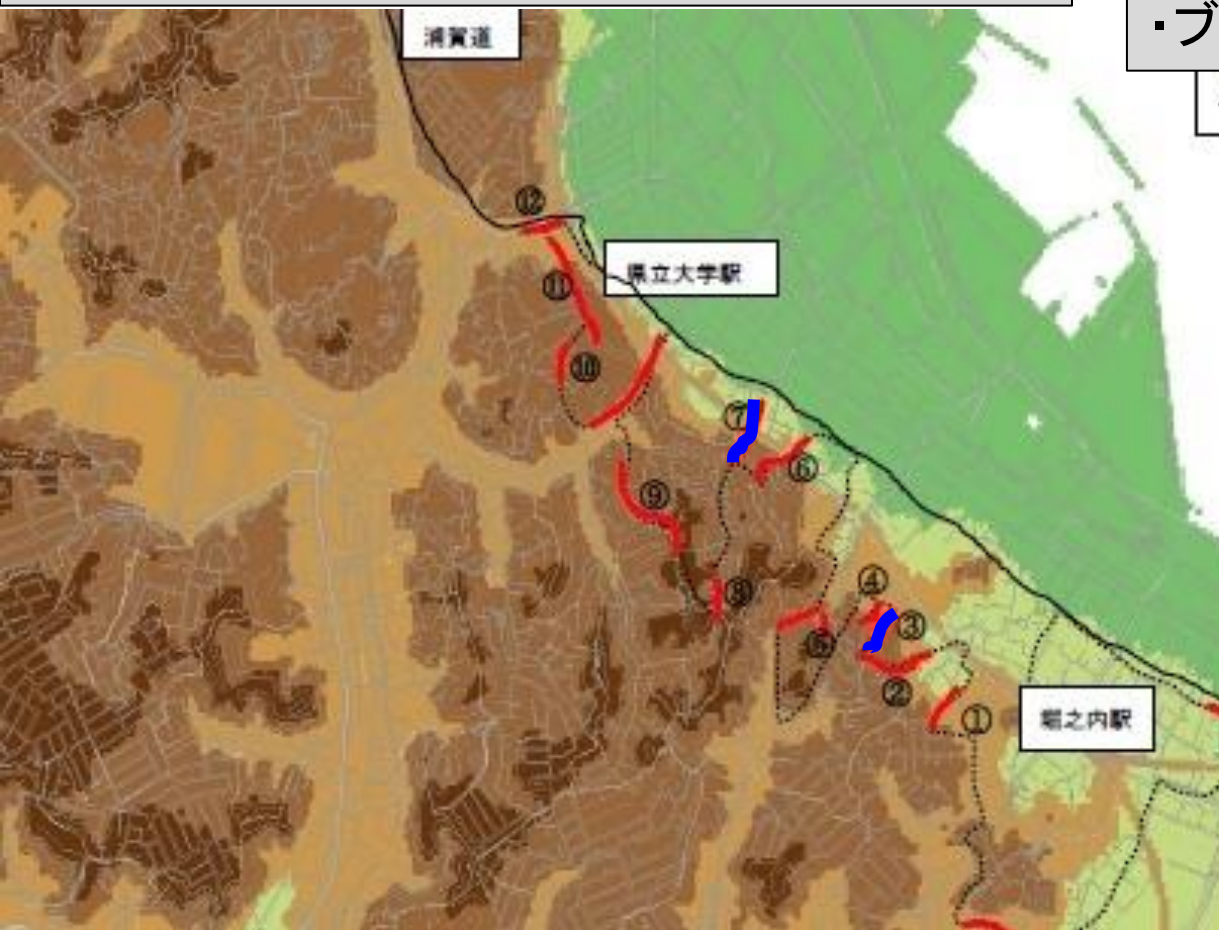
# マップ④(県立大学ー堀之内)

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 12坂

- ・平野部と丘陵部の境界海蝕崖部の連絡道
- ・④台地・低地連絡路が多い。67%
- ・階段が多い。75% 平均勾配25%

**その他おもしろ情報**

- ・フランスパン→中井パン
- ・角打ち→山崎屋酒店、佐野酒店
- ・ブラフ積み多数



坂道  
--- ルート



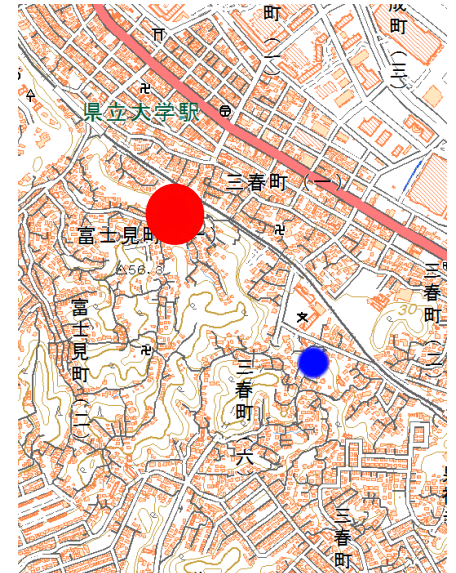


# マップ④(県立大学一堀之内)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

⑦富士見町1の坂  
24m-21%

## 京急電車から見える坂道

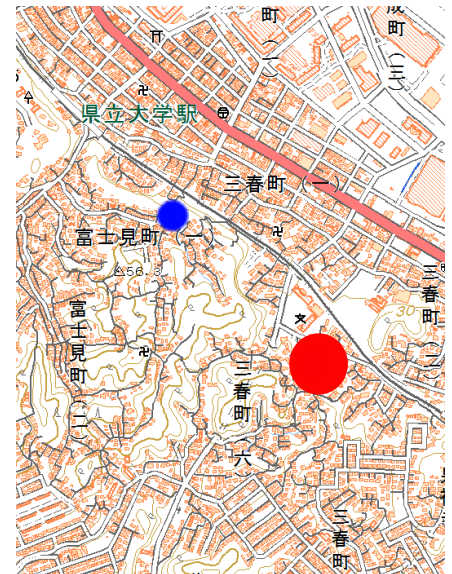


# マップ④(県立大学一堀之内)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

③三春町6の坂  
27m-17%

## 海食崖のつづら折り坂道



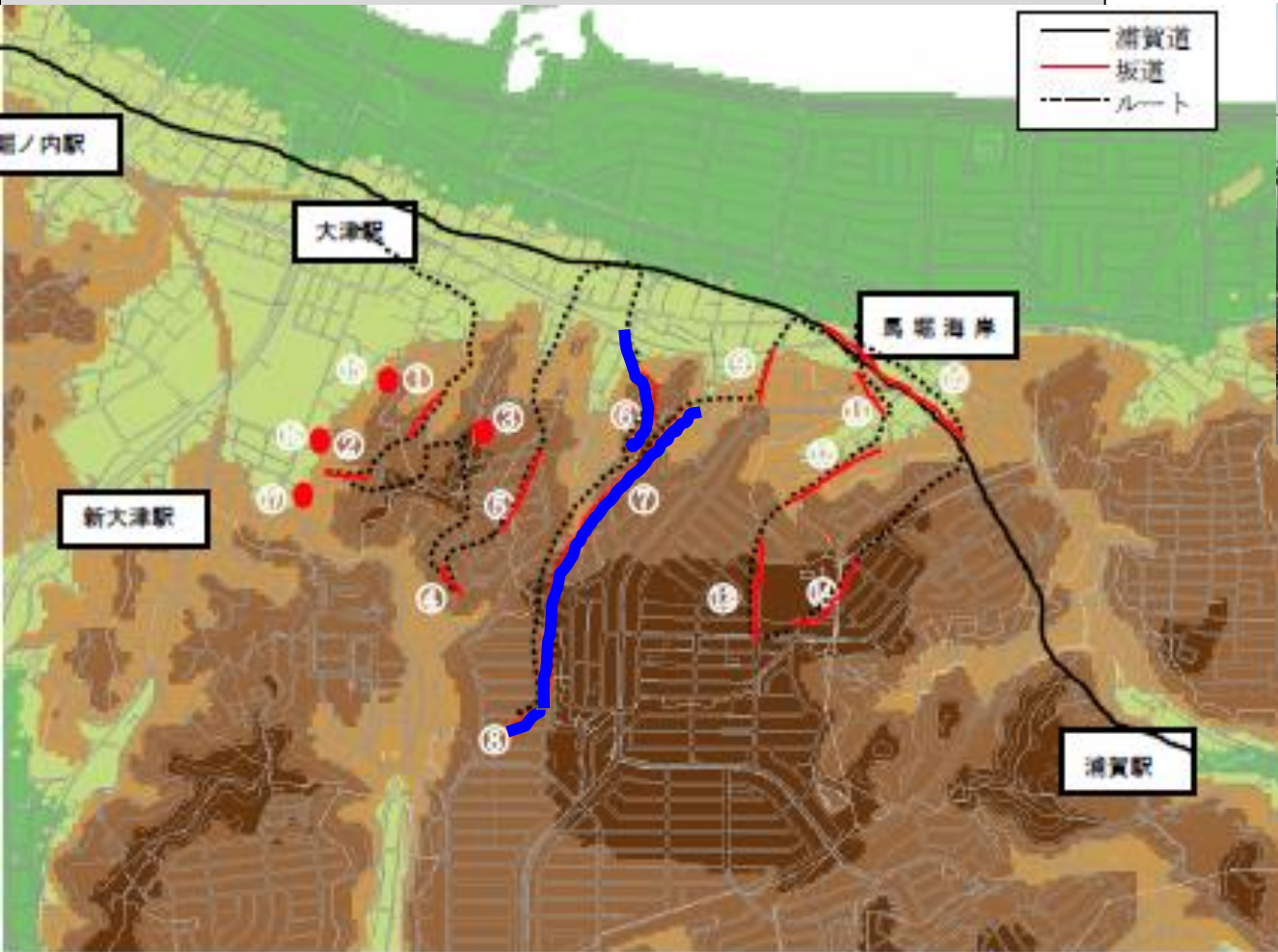
# マップ⑤(大津ー馬堀海岸)

**海と船が見える坂道情報**

- ・坂数 13坂
- ・戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道
- ・④台地・低地連絡路が多い。62% 平均勾配7%

**その他おもしろ情報**

- ・直轄高潮対策 馬堀海岸



# マップ⑤(大津ー馬堀海岸)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑦桜ヶ丘1の大坂  
40mー5%

H30市選定  
「海が見える坂道」

## 現代坂道のおすすめナンバーワン



# マップ⑤(大津ー馬堀海岸)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑥桜ヶ丘1の坂  
26mー13%

昔の農道・山道が坂道に



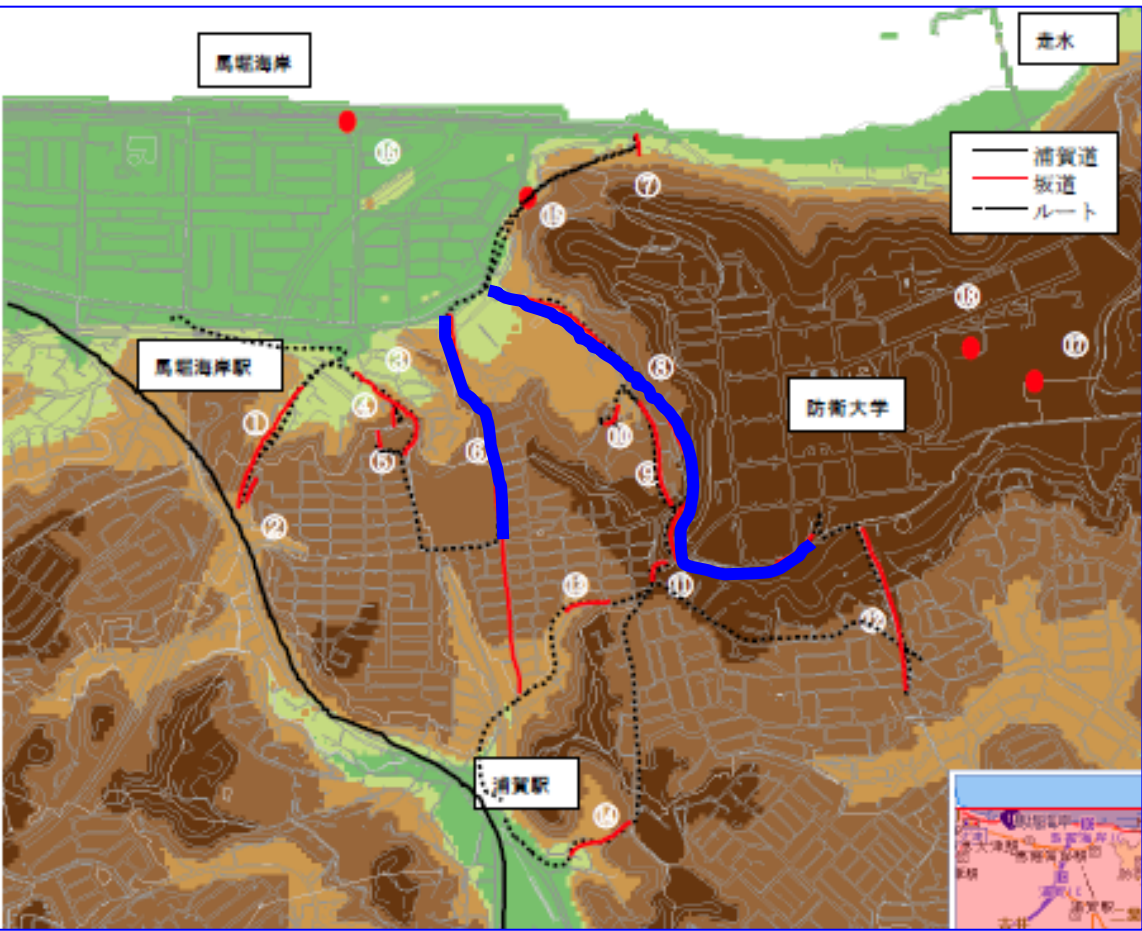
# マップ⑥(馬堀海岸ー浦賀)

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 11坂

- ・戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道
- ・④台地・低地連絡路が多い。77%
- ・斜路が多い。55% 平均勾配10%

**その他おもしろ情報**

- ・走水トンネル
- ・防衛大学校
- ・ブラフ積み



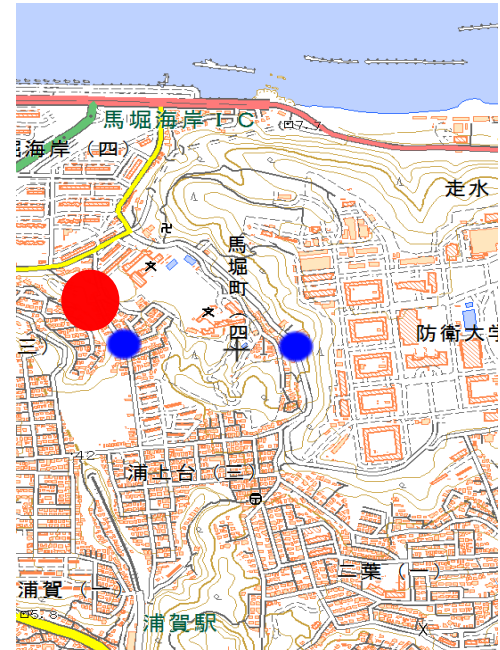
# マップ⑥(馬堀海岸ー浦賀)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑥馬堀町4の坂  
38mー11%

## 海に落ち込む急な坂道

H30市選定  
「海が見える坂道」

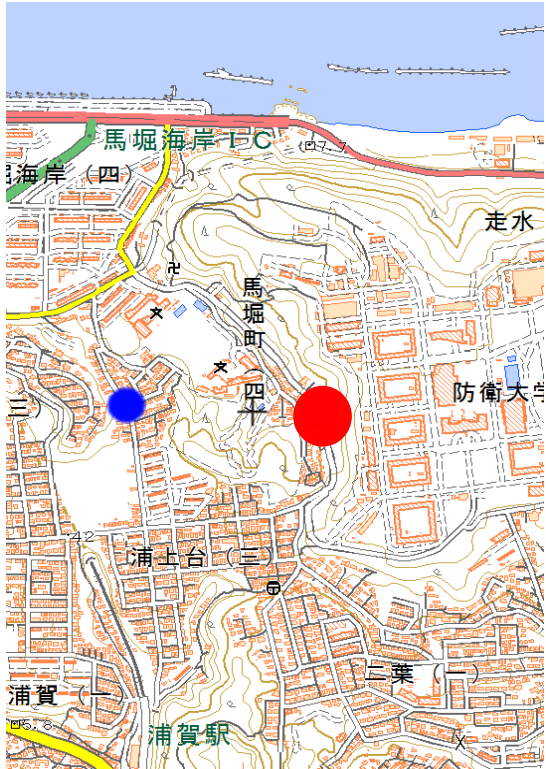


# マップ⑥(馬堀海岸－浦賀)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m－勾配%

⑧防大の坂  
80m－7%

## 富士山も見える海と船が見える坂道





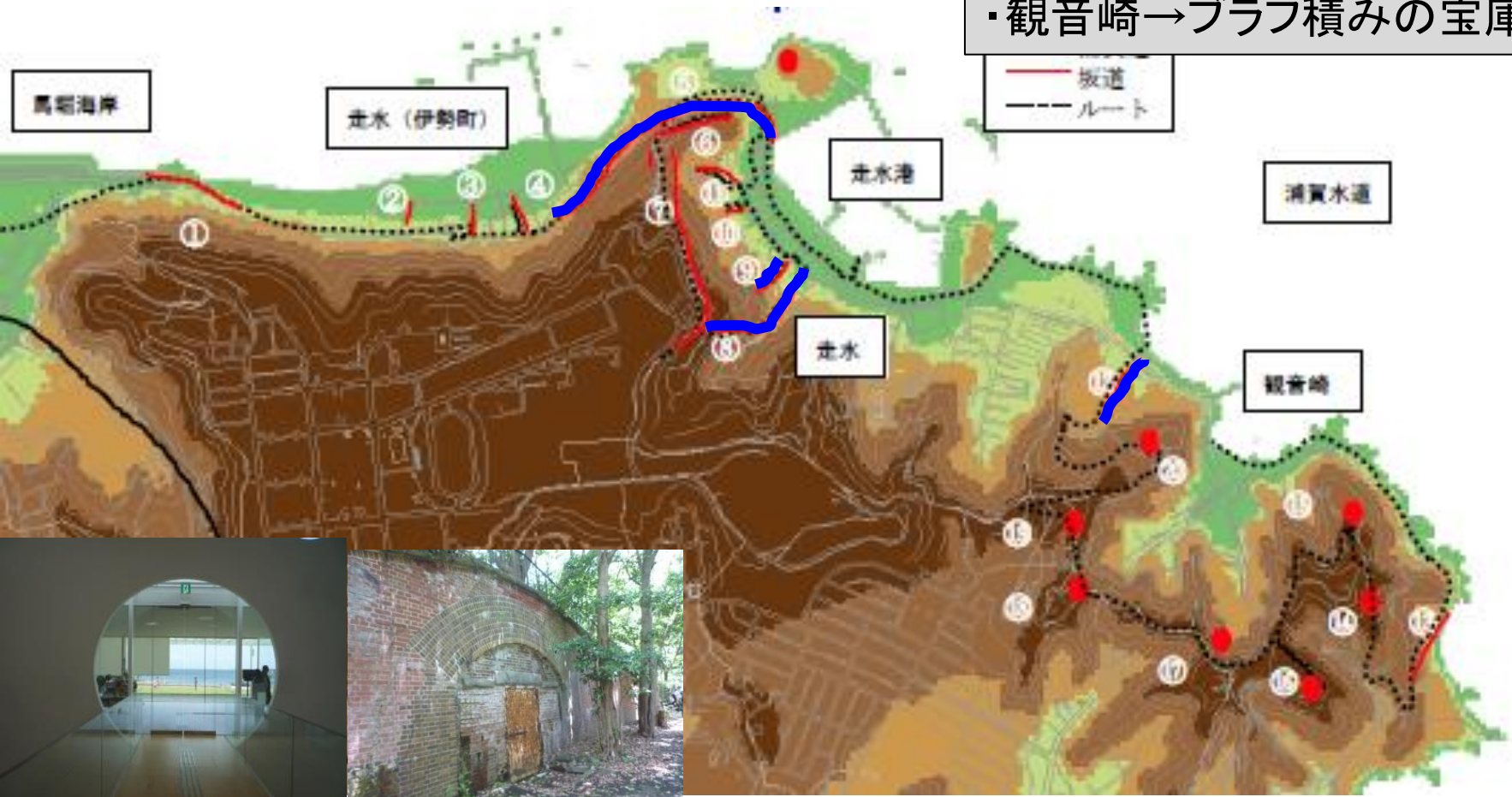
# マップ⑦(馬堀海岸－観音崎)

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 13坂

- ・近世型坂道と砲台への連絡坂道
- ・①広域道15% ⑤その他 31%が多い。67%
- ・斜路が多い。77% 平均勾配10%

**その他おもしろ情報**

- ・走水神社
- ・観音崎砲台
- ・横須賀美術館
- ・観音崎→ブラフ積みの宝庫

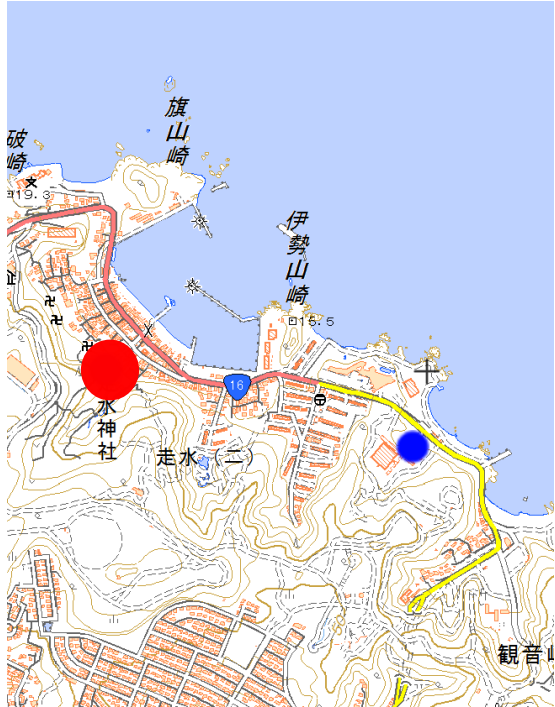


# マップ⑦(馬堀海岸－観音崎)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m－勾配%

⑨走水神社の坂  
19m－54%

## 寺社型海と船が見える坂道

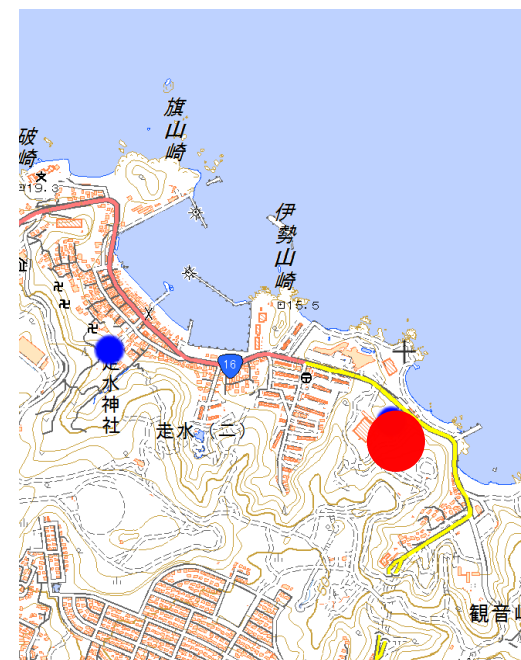


# マップ⑦(馬堀海岸－観音崎)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m－勾配%

⑫横須賀  
美術館の坂  
4m－6%

## 海と船を借景とする美術館の坂道



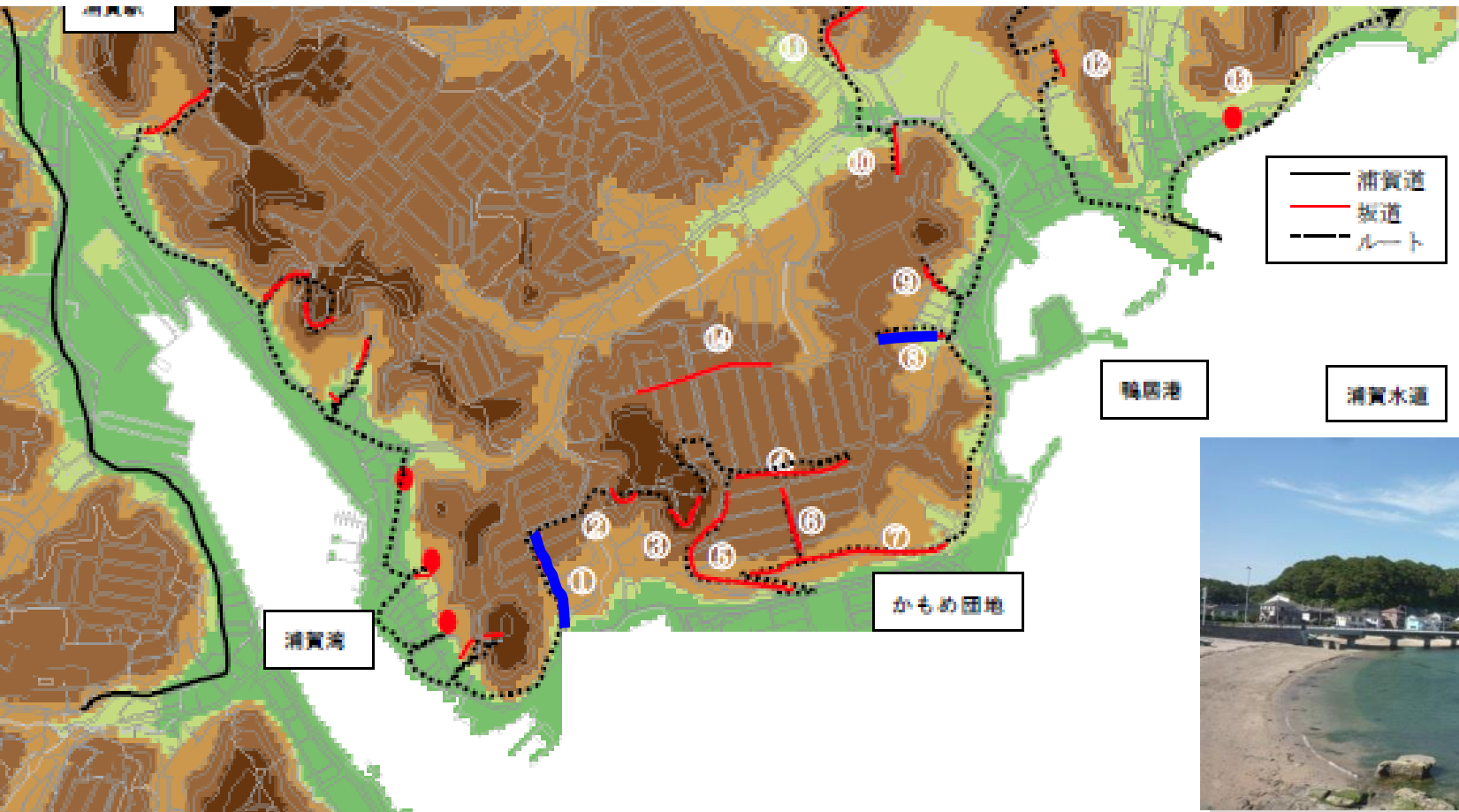
# マップ⑧(鴨居)

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 9坂

- ・戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道
- ・③住宅地内坂道33% ④台地・低地連絡路 55%が多い。
- ・斜路が多い。56% 平均勾配6%

**その他おもしろ情報**

- ・多々良浜

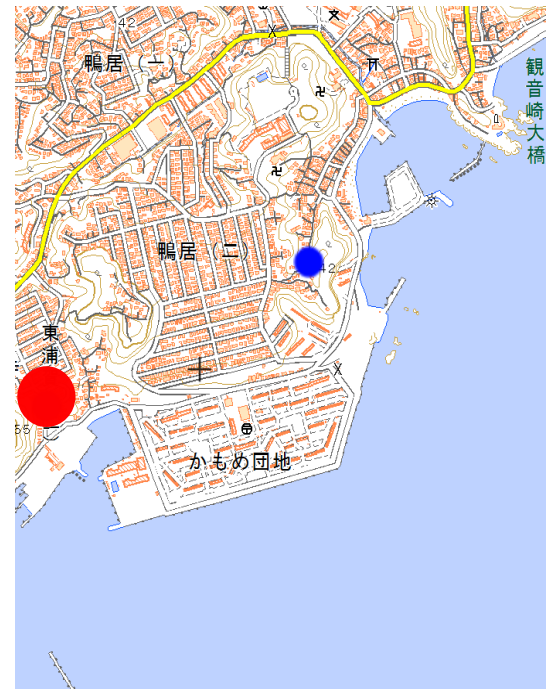
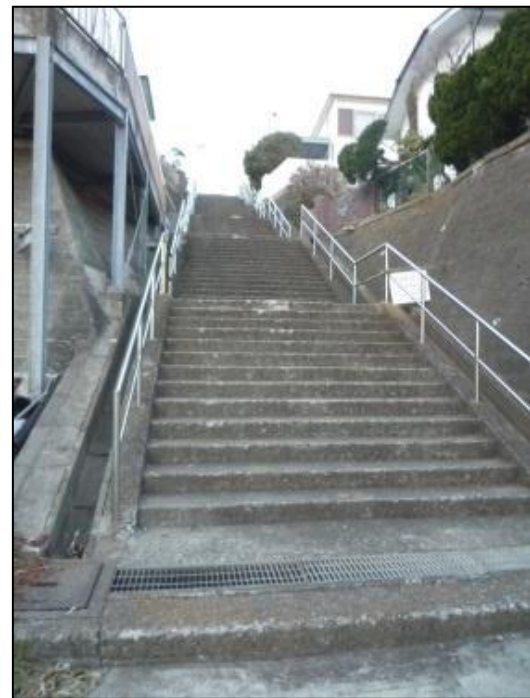


# マップ⑧(鴨居)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

①東浦賀2の坂  
27m-12%

## 実はすごい団地内の地味な坂道

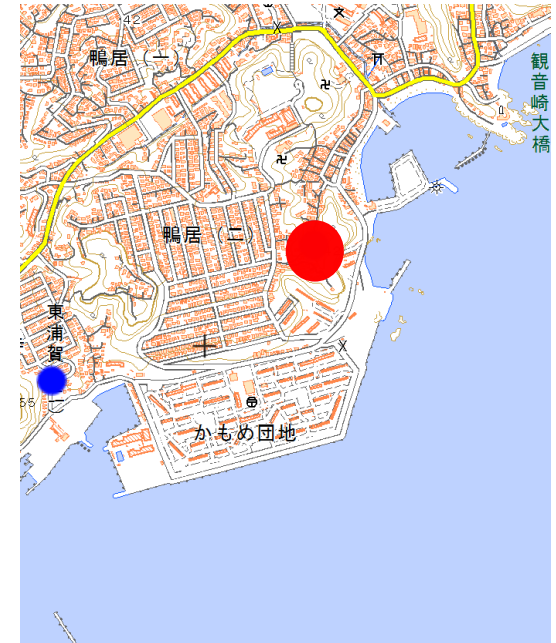
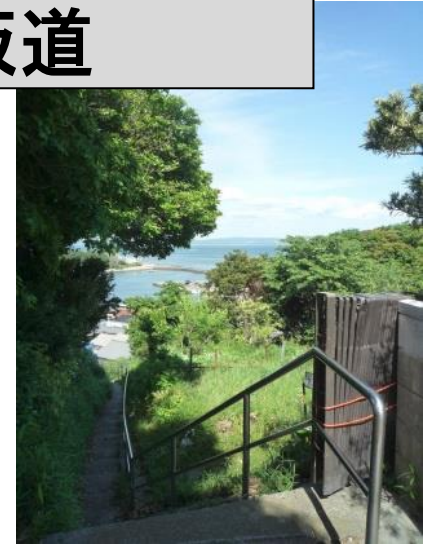


# マップ⑧(鴨居)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

⑧鴨居港の坂  
26m-21%

## 鴨居港一望の旧農道坂道



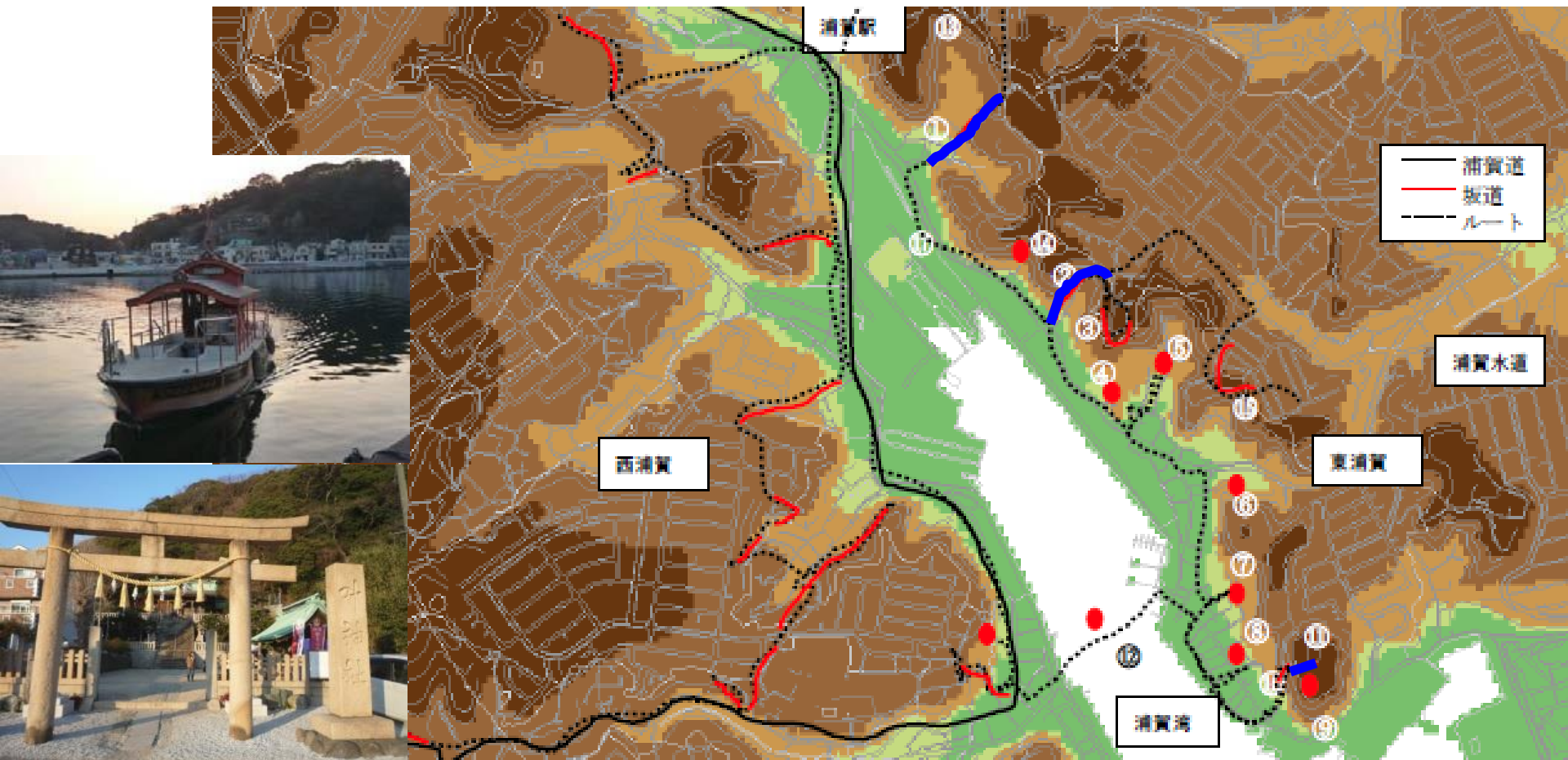
# マップ⑨(浦賀ー北久里浜)東浦賀

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 10坂

- ・戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道と近世型坂道
- ・②寺社型が多い。70%
- ・階段が多い。90% 平均勾配55%

**その他おもしろ情報**

- ・東叶神社
- ・浦賀の渡し



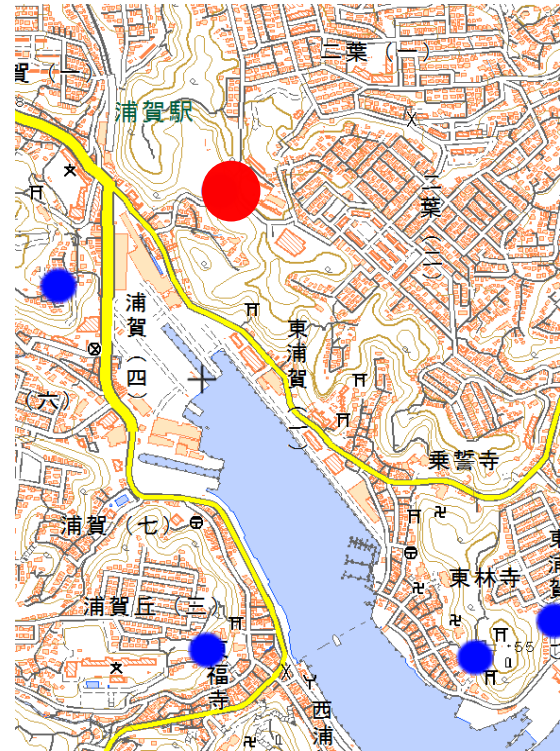
横須賀「海と船が見える坂道」 吉田秀樹

# マップ⑨(浦賀ー北久里浜)東浦賀

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

①東浦賀1の坂  
49mー19%

## 浦賀の一挙駆け下り駆け上り階段



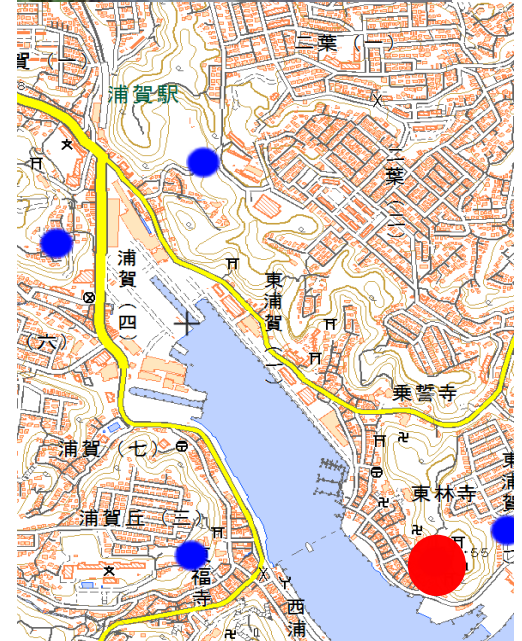


# マップ⑨(浦賀ー北久里浜)東浦賀

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑩恵仁志坂  
18mー4.1%

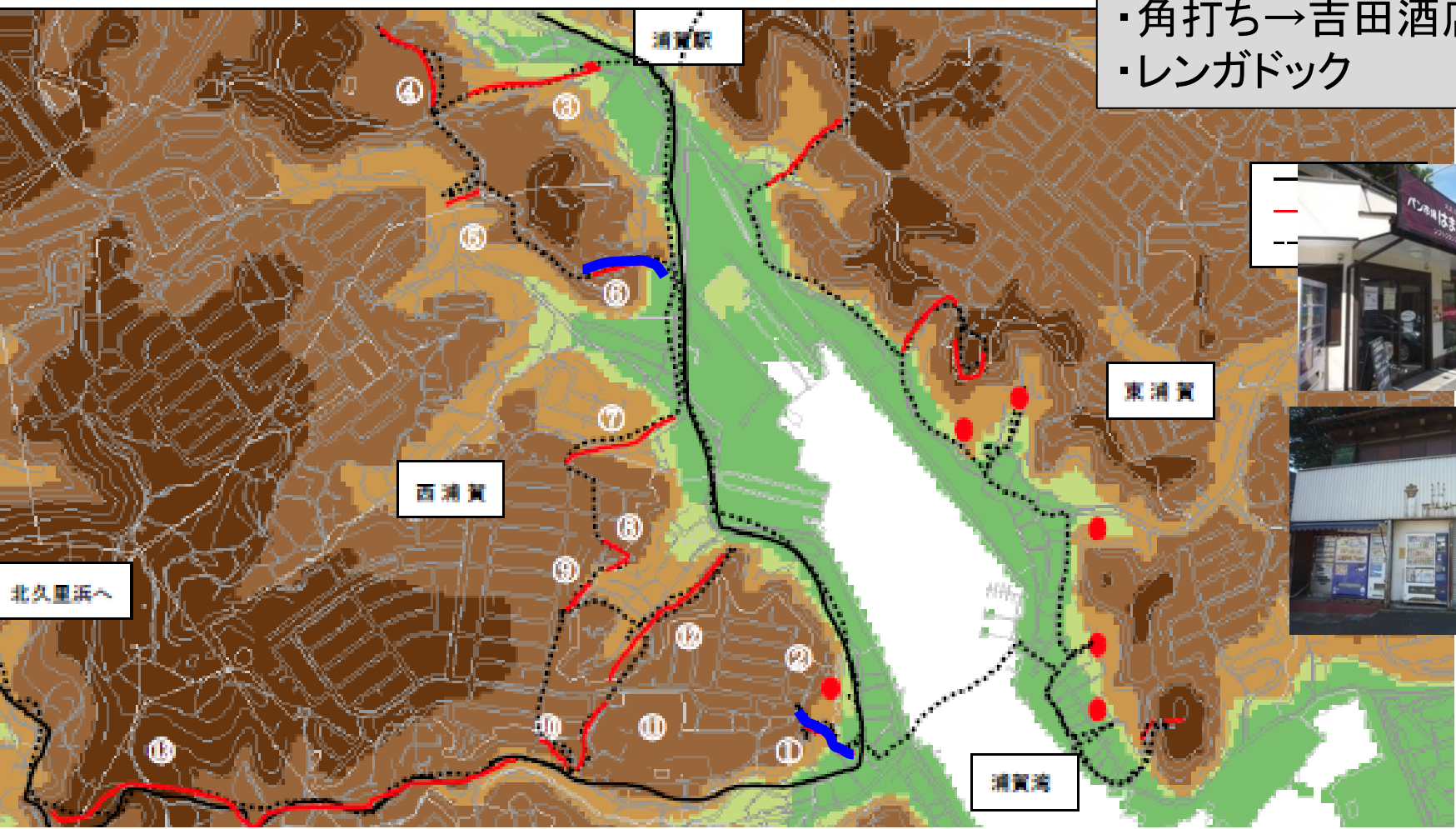
## 港町浦賀の海と船が見える坂道



# マップ⑩(浦賀ー北久里浜)西浦賀

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 6坂  
・戦後の住宅開発された丘陵部との連絡道と近世型坂道  
・②寺社型が多い。33% ・階段が多い。67% 平均勾配31%

**その他おもしろ情報**  
・フランスパン→浜田分店パン  
・角打ち→吉田酒店  
・レンガドック

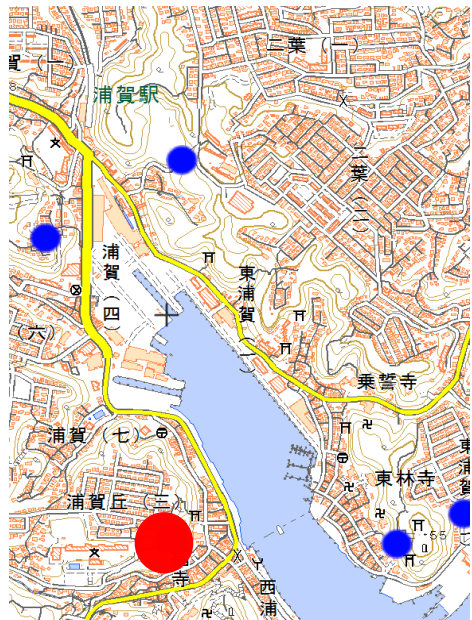
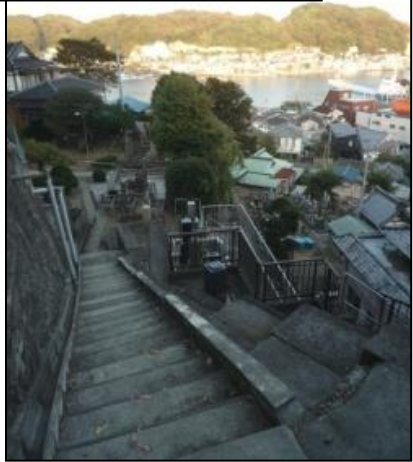


# マップ⑩(浦賀ー北久里浜)西浦賀

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

①東福寺の坂  
45mー34%

## 浦賀湊一望の坂道

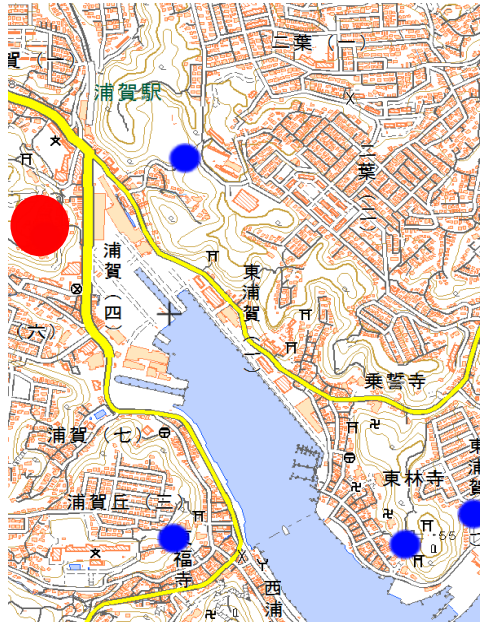


# マップ⑩(浦賀ー北久里浜)西浦賀

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差mー勾配%

⑥浦賀3の坂  
43mー20%

## 浦賀湾奥の湾一望の坂道



# マップ①①(西浦賀一川間)

**海と船が見える坂道情報** ・坂数 11坂

- ・砲台等戦前型坂道と住宅開発型坂道
- ・①広域道型が多い。27%
- ・斜路が多い。82% 平均勾配12%

**その他おもしろ情報**

- ・レンガドック
- ・千代ヶ崎砲台
- ・鰻絵(こてえ)

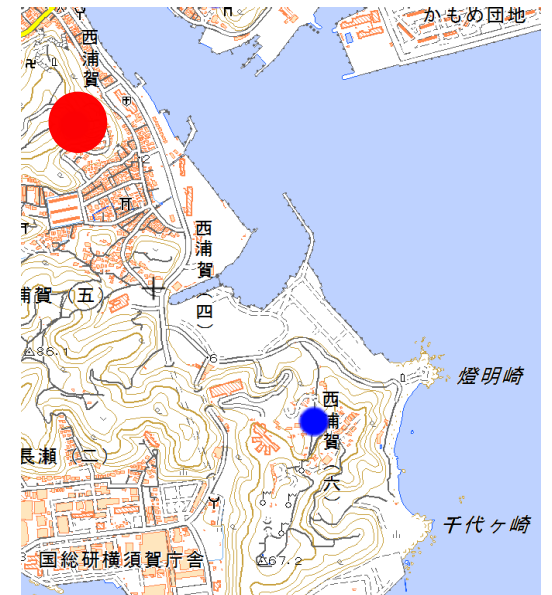


# マップ⑪(西浦賀一川間)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

⑤西浦賀の新坂  
55m-12%

## 東京湾・浦賀水道一望の坂道

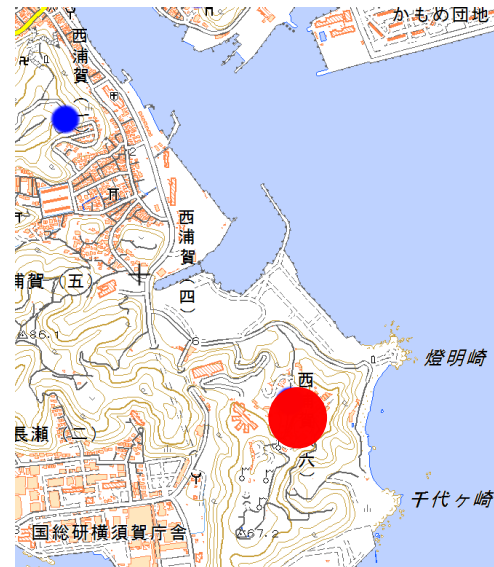


# マップ⑪(西浦賀一川間)

凡例 坂番号 坂の名前  
標高差m-勾配%

⑫千代ヶ崎砲台の坂  
48m-13%

## 砲台に続く一直線坂道



# 番外 マップ⑫(久里浜はなの国)

海と船が見える坂道情報

- ・公園内坂道
- ・すべて斜路

・坂数 7坂

その他おもしろ情報

- ・角打ち→小善酒店
- ・トンネル→千駄ヶ崎トンネル
- ・多数のツバキ・みつまた

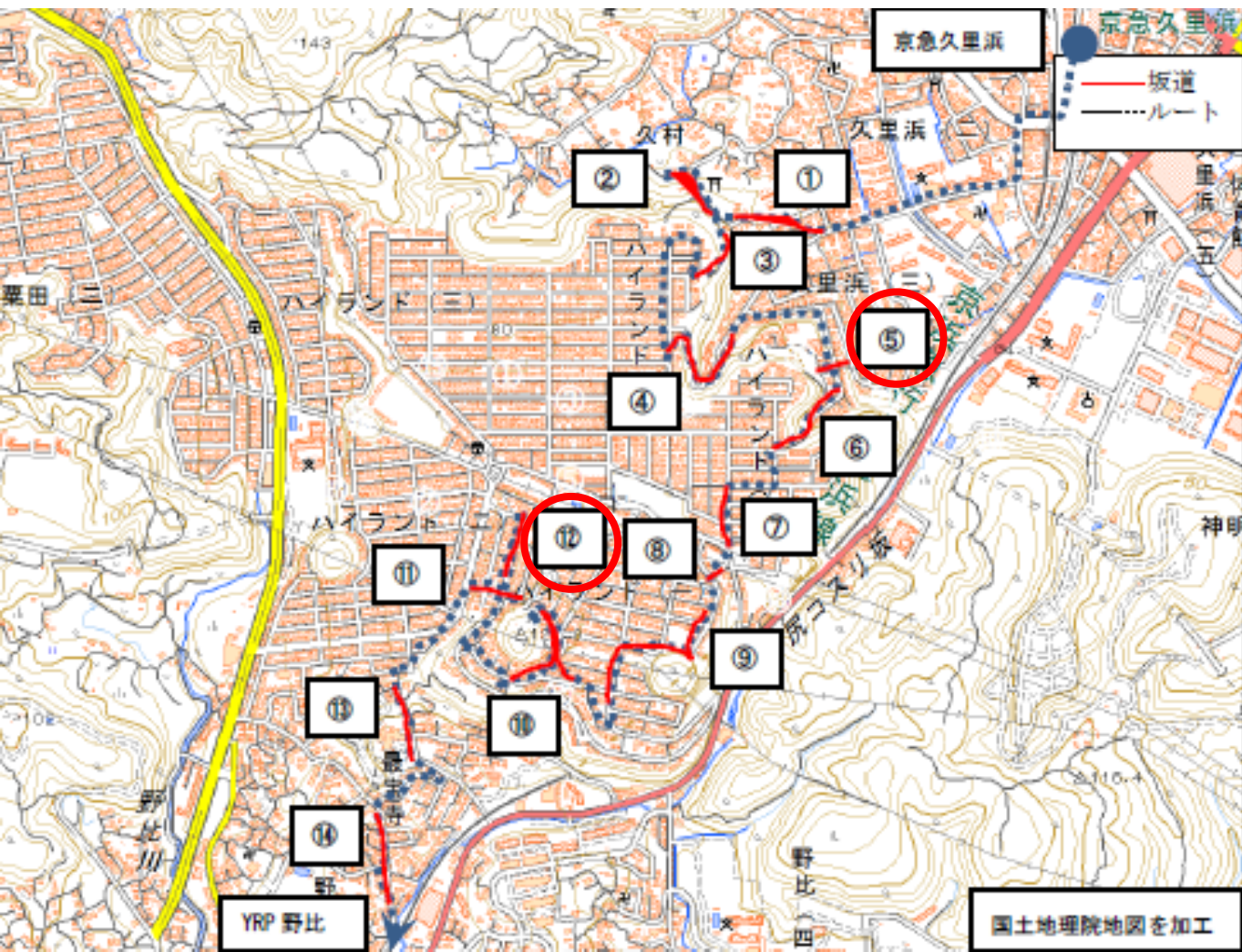




# 番外 マップ⑬(ハイランド)

海と船が見える坂道情報  
・住宅への坂道、住宅内坂道  
・坂数 9坂

その他おもしろ情報  
・角打ち→小善酒店  
・ローターリー  
・しりこすり坂



# 番外 久里浜はなの国、ハイランド おすすめ坂

## 花の国の海と船が見える坂道



H30市選定  
「海が見える坂道」



久里浜はなの国

ハイランド



ハイランドの直線階段

## 8. 「横須賀案内(横須賀坂道物語)」の提案

「横須賀案内(横須賀坂道物語)」のコースとして私が考えたいいくつかのコースをご紹介します。

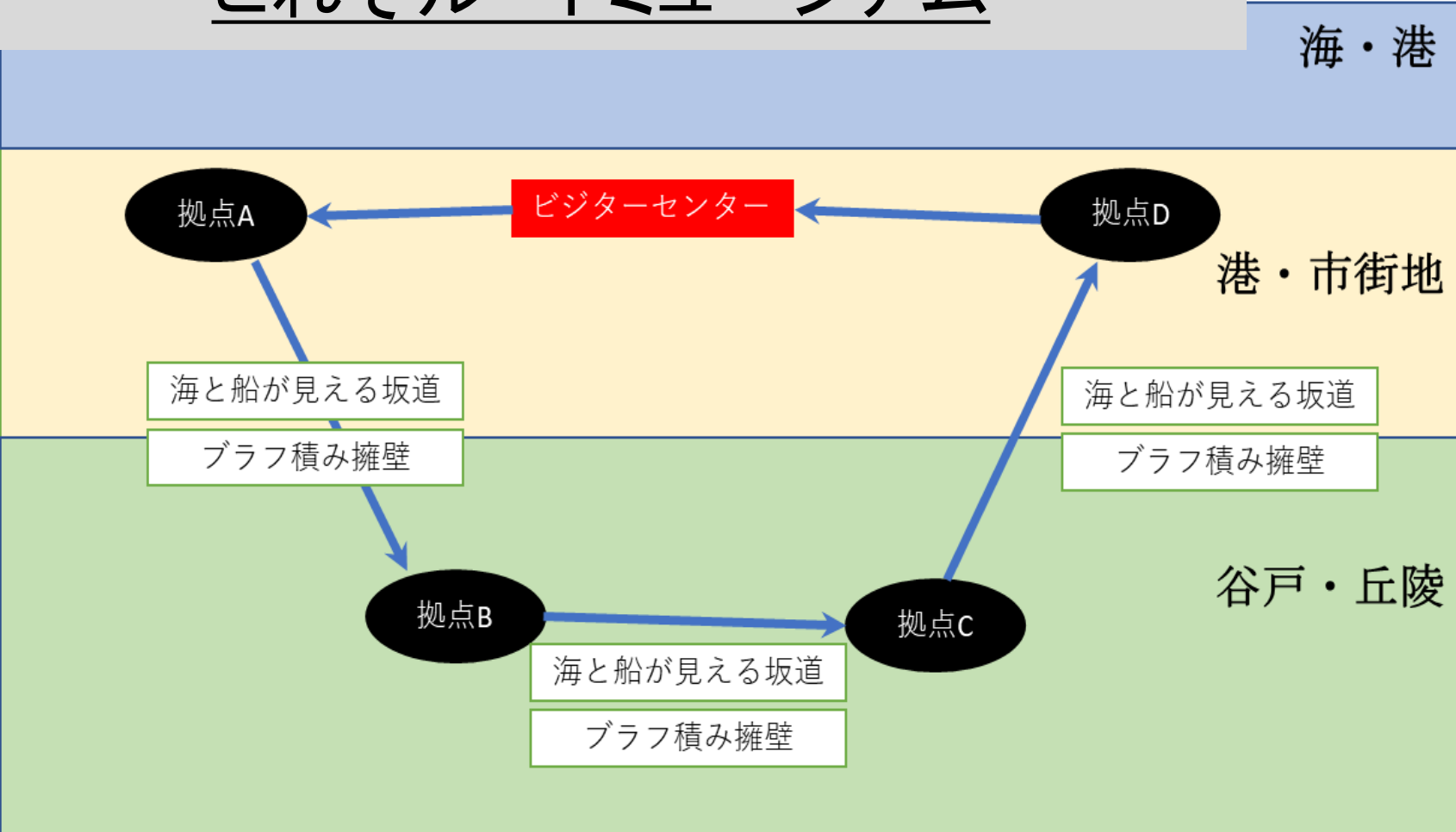
ぜひ歩いてみてください。

○お知らせ

①浦賀道・横須賀港満喫ゴールデンルートは、12/13に現地踏査会を開催します。

# 8. 「横須賀案内(横須賀坂道物語)」の提案

コンセプト→拠点を坂道で結ぶ  
これぞルートミュージアム



# ①浦賀道・横須賀港満喫ゴールデンルート

横須賀中央→どぶ板→軍港巡り→案内所  
→浦賀道(稲荷山の坂・ブラフ積み→見晴らし山→一国坂  
→汐入→ヒデヨシ→ブラフ積み・汐入小→谷町の坂  
→小屋の台の坂・ブラフ積み→うぐいす坂  
→平坂→横須賀ベーカーリー→中央酒場→横須賀中央



赤字:点  
黒字:線

## ②横須賀北部・海軍工廠・空技廠地帯探訪ルート

追浜→平六トンネル→浦郷坂道→つきこや→海軍官修墓地  
→深浦海軍空技廠地帯・ブラフ積み→深浦ボートパーク→  
梅田トンネル→長浦海自基地→東芝ライテック→港ヶ丘三  
浦アルプス入り口展望台→盛福寺トンネル→海軍水道→海  
軍倉庫地帯→ひょうトンネル→田浦駅トンネル群→田浦駅



赤字:点  
黒字:線

### ③横須賀「ブラフ積み」石垣探訪ルート

汐入→**軍港巡り**・ブラフ積み→ブラフ積み・汐入小  
→谷町の坂 →小屋の台の坂・ブラフ積み→うぐいす坂→平  
坂→ブラフ積み・海軍病院跡・**博物館**・**中央公園**→聖徳寺坂  
→**長官邸**→田戸台・ブラフ積み→佐野町・ブラフ積み  
→どうきみ坂→県立大学駅→**山崎屋酒店**・**中央酒場**



赤字:点  
黒字:線

# ④横須賀戦後住宅地散策ルート

馬堀海岸駅→馬堀海岸→矢の津坂→安房口神社→桜ヶ丘  
の大坂→桜ヶ丘団地→桜ヶ丘の坂道→大津の丘団地→大  
津駅→山崎屋酒店・中央酒場



赤字:点  
黒字:線



# ⑤東京湾要塞・ブラフ積み探訪ルート

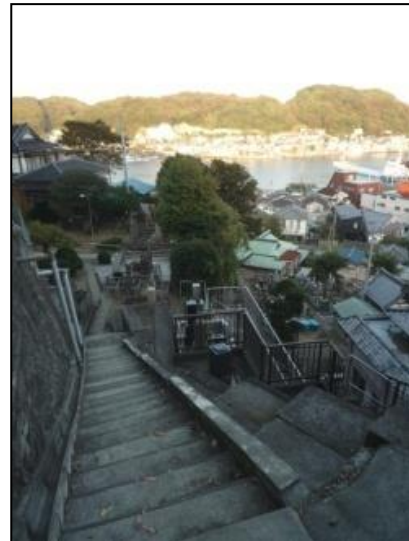
馬堀海岸駅→**横須賀美術館** →**観音崎砲台群**・ブラフ積み  
→**たたら浜**→**鴨居港**→鴨居港の坂道→浦賀駅・**浜田分店パ  
ン**→**中央酒場**



赤字:点  
黒字:線

# ⑥交易・造船の町浦賀湾ぐるっとルート

馬堀海岸駅→防大への坂・富士山→二葉町→東浦賀の坂  
→浜田分店パン→浦賀ドック→渡し→東叶神社(恵仁志坂、  
産霊坂)→渡し→西叶神社→東福寺の坂→愛宕山→鰻絵→  
軍道の坂→川間ドック→灯明堂→砲台の坂→千代ヶ崎砲台  
→久里浜・小善酒店



赤字:点  
黒字:線

## 9. 私たちに出来ることは？

私は、横須賀のまちを盛り上げたい。

今私たちが横須賀のまちに対してできることは何なののでしょうか？

# 9. 私たちに出来ることは？

まず市民が知り、誇りを持つとともに楽しむ

- ①歩いてみよう(坂道+ブラフ積み)
- ②名前をつけよう
- ③坂標を建てよう
- ④歩いた後は横須賀文化堪能

市外の人に発信しよう

横須賀ルートミュージアムを応援しよう



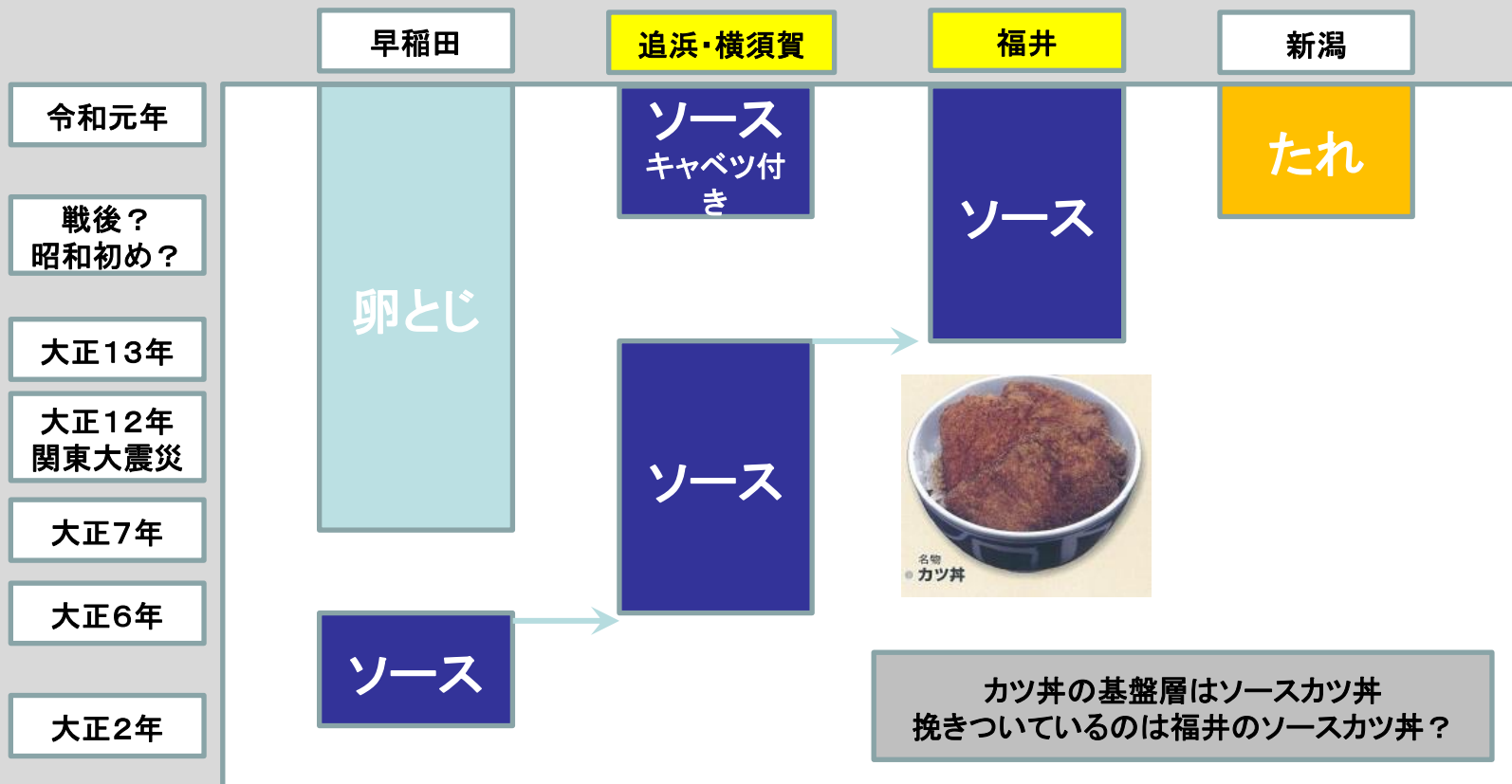
# おまけ カツ丼(ソース)のいろいろ



# おまけ カツ丼の歴史(地盤工学風に)

福井県(全県ソースカツどん)育ち。カツどんを全国食べ歩き。

時代・場所



# おまけ カツ丼(ソース) 横須賀と福井の比較

土地	外観	発祥	発想(私見)	食べ方 作法
<p>横須賀</p> <p>しんどう やなせ</p>		<p>戦後?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀は人が多い。</li> <li>・とんかつ定食の大皿は場所を取る?</li> <li>・どんぶりにすれば場所は丼だけ?</li> </ul> <p><u>→狭い土地での3階建1戸建て</u></p>	<p>丼として食べる。</p> <p><u>→やはり丼</u></p>
<p>福井</p> <p>ヨーロッパ軒 等 全県的</p>		<p>大正2 早稲田</p> <p>大正6 追浜</p> <p>大正13 福井</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツで修業し、ハイカラな食べ物?</li> <li>・場所の問題ではない?</li> </ul> <p><u>→広い土地での洋風建築</u></p>	<p>蓋を皿にし、すべてのカツを蓋に載せる。</p> <p><u>→まるでとんかつ定食</u></p>

# 「海と船が見える坂道」 現地踏査会のお知らせ



- ・ 踏査コース  
浦賀道・横須賀港満喫ゴールデンコース  
(健脚コース)  
汐入→逸見→浦賀道→汐入→浦賀道  
→横須賀中央
- ・ 開催日時  
令和2年12月13日(日) 13時～
- ・ 集合場所  
市民活動サポートセンター
- ・ 定員  
先着10名
- ・ 資料代  
500円

今回展示の参考資料 ・国総研資料No.879「みなとまちの地域資源である「海と船が見える坂道」に関する研究」  
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0879.htm>  
・坂学会「海と船が見える坂道」<http://www.sakagakkai.org/contri/UmiToFuneSaka/index.html>

♪ここは ヨコースカーー♪



# 受賞報告 「令和2年度都市景観大賞－特別賞」

- ・ 横須賀建築探偵団が参加している「湘南庭園文化祭」が
- ・ 「令和2年度都市景観大賞－特別賞」を受賞しました。
  
- ・ 横須賀建築探偵団では、津久井浜にある別荘文化の文化財建物「万代会館」での活動で毎年参加しています。



湘南邸園文化祭  
@横須賀市、万代会館  
地域で親しまれる歴史的建造物での  
寄席の様子